

2024年3月期
第3四半期 決算説明会

2024年2月8日

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社(以下「SBG」)及びその子会社(以下SBGと併せて「当社」)並びに関連会社(以下当社と併せて「当社グループ」)に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド(下記で別途定義)並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。)に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR(米国預託証券)に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR(以下「ADR」)の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGIは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法(以下「証券取引所法」)で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited(以下「SBGA」)、SB Investment Advisers (UK) Limited(以下「SBIA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社(以下併せて「SBファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド(文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」)のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」)、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」)及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」)を含みます。

SBファンド(ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因(例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。)に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びバンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

2023年度Q3のハイライト

- 1 連結損益大幅改善。四半期純利益は9,500億円
- 2 1.1兆円相当のTモバイル株式を無償取得
- 3 アームの価値増が牽引し、NAVは2.8兆円増の19.2兆円
- 4 アリババからアームを軸としたAIへのシフト
- 5 SVFパフォーマンス大幅改善

連結業績

連結業績 (四半期)

(億円)

	2022年度 Q3	2023年度 Q3	増減額
売上高	16,933	17,748	+815
投資損益	-5,116	4,246	+9,362
税引前利益	-5,827	11,715	+17,542
純利益	-7,834	9,500	+17,334

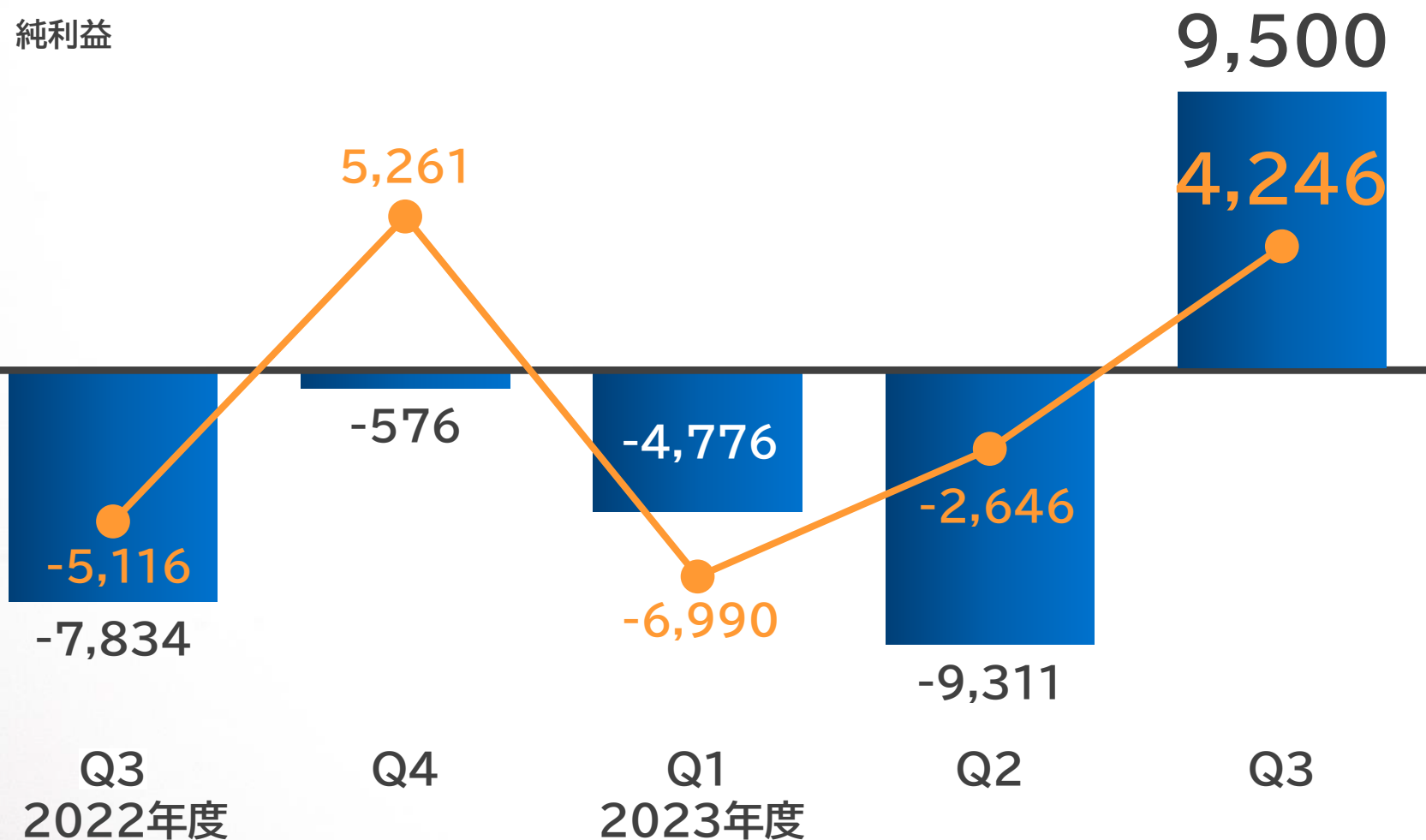
純利益:親会社の所有者に帰属する純利益

投資損益および純利益 (四半期)

(億円)

● 投資損益

■ 純利益



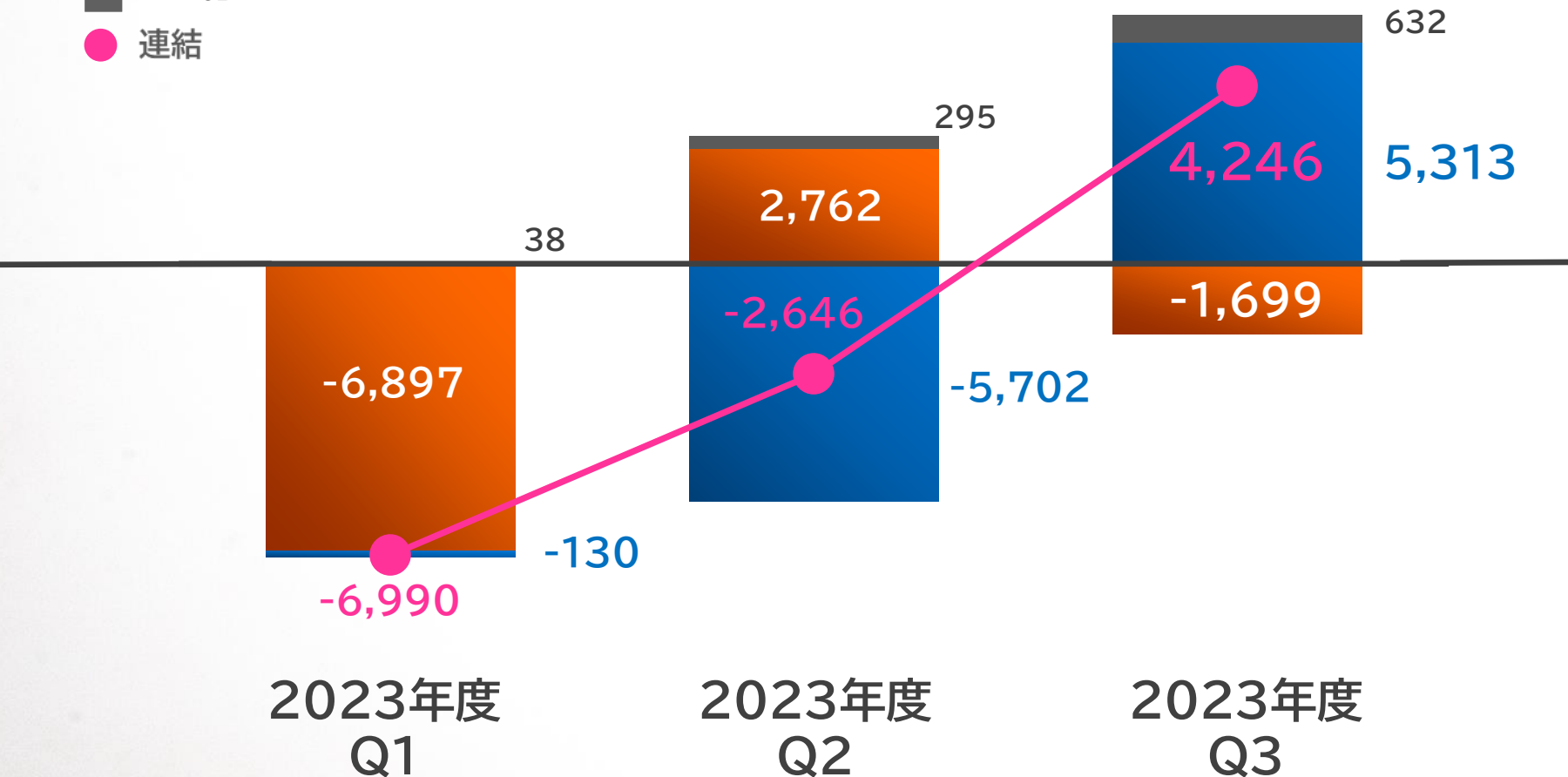
投資利益が
純利益の大幅
改善を牽引

投資損益 (2023年度 四半期推移)

(億円)



連結投資損益 黒字転換



1.1兆円相当のTモバイル株式の無償取得

条件付対価
(合併対価の一部)

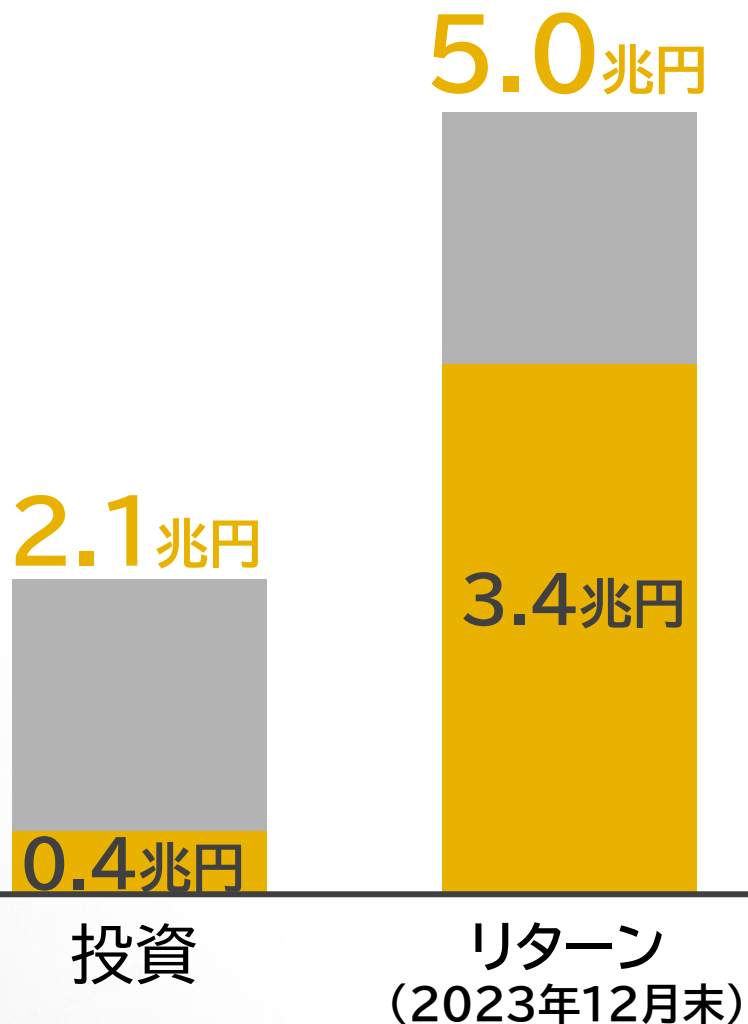
45日間の出来高加重平均 \geq \$149.35
の条件を2023年12月22日に充足

48.8百万株(1.1兆円相当)を無償で取得

2023年度Q3(四半期)におけるP/L投資利益計上額:3,161億円

Tモバイル株式の取得:当社子会社であったSprint Corporationは、2020年4月1日にT-Mobile US, Inc.と合併し、当社はその対価としてTモバイル株式及び条件付対価を受領。条件付対価は一定の条件を満たした際に、当社がTモバイル株式48,751,557株を追加での対価なしに無償取得できる権利。
Tモバイル株式:NASDAQ Global Select Marketにおける同社普通株式
一定の条件:2022年4月1日から2025年12月31日の期間に、Tモバイル株式の45日間の出来高加重平均が149.35ドル以上となった場合
詳細は、2023年12月26日付当社プレスリリース「条件付対価の条件充足に伴う、Tモバイル株式48.8百万株(1.1兆円相当)の無償での取得に関するお知らせ」参照

スプリント投資の実績



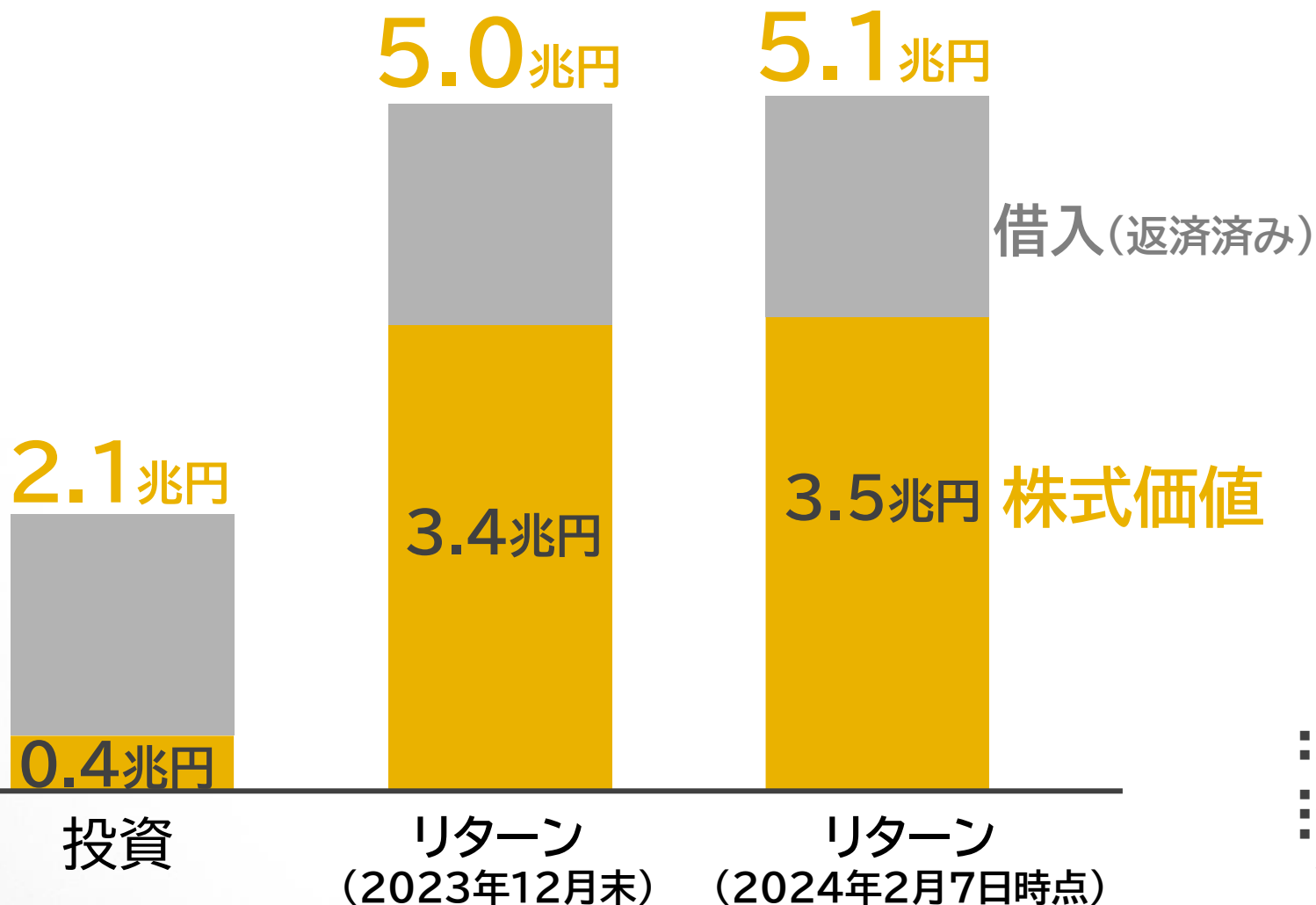
株式IRR
26%

MOIC
8.2倍

(23年12月末時点)

- 投資およびリターン:各取引日または評価日における為替レートにより円換算
- 株式IRRおよびMOIC:初回投資実施から2023年12月31日までの株式価値に係る投資およびリターンにより算出。税金考慮前
- 借入金:日本円によるスプリント買収時の調達額
- 投資:附随費用を含まない。
- リターン:株式価値は、以下、(a)~(c)の合計
 - Tモバイル株式の売却、またはTモバイル株式及びドイツテレコム株式のデリバティブ取引による資金化済みの金額(取引に係るコストを除く)
 - 2023年12月31日時点の保有株式価値(保有する株式数に同日終値を乗じて算出。ただし、デリバティブで調達済みの価値を除く)
 - ドイツテレコム株式、Tモバイル株式の配当により受領した金額

スプリント投資の実績



株式IRR
26%
MOIC
8.5倍

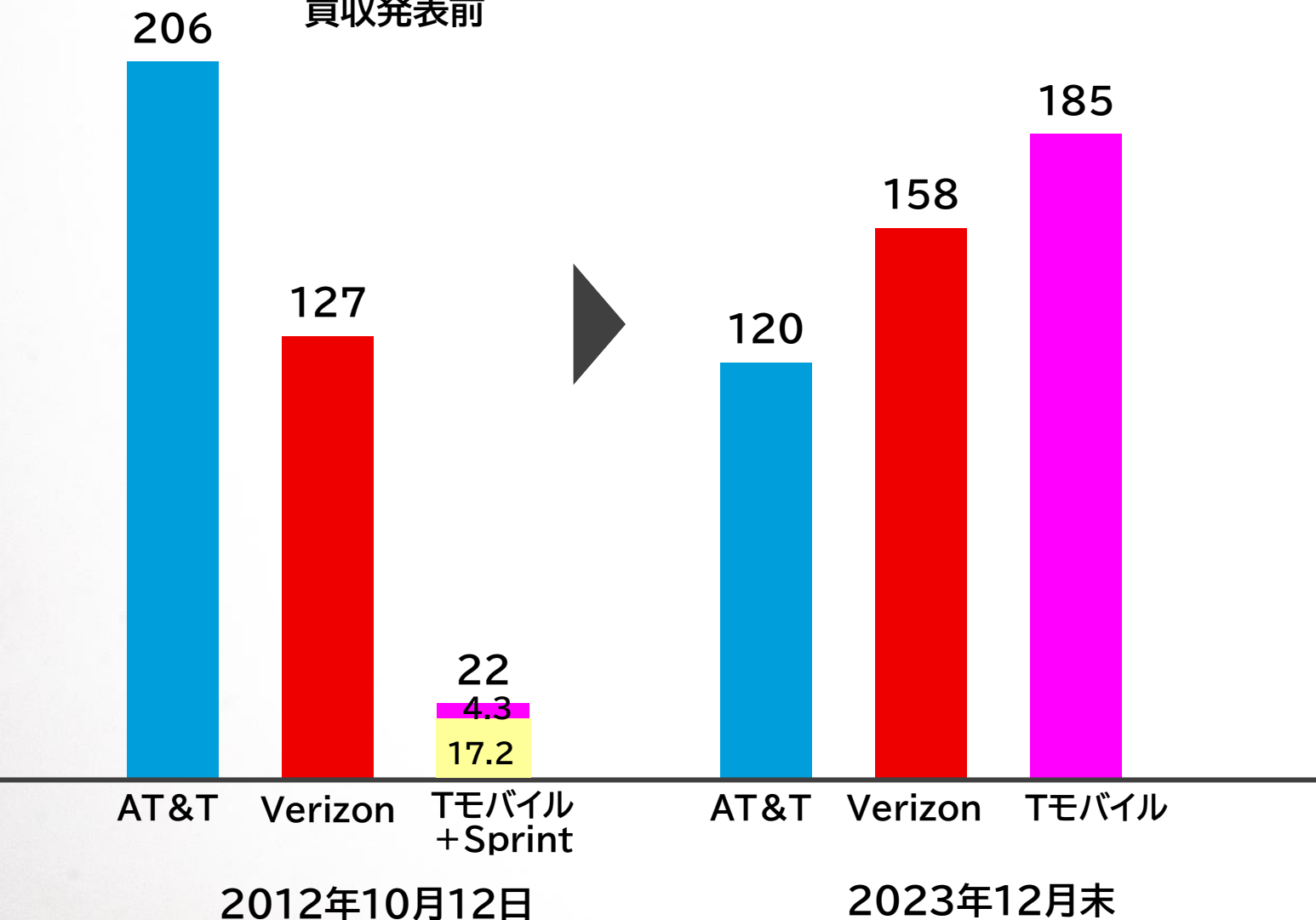
(24年2月7日時点)

- 投資およびリターン:各取引日または評価日における為替レートにより円換算
- 株式IRRおよびMOIC: 初回投資実施から2024年2月7日までの株式価値に係る投資およびリターンにより算出。税金考慮前
- 借入金: 日本円によるスプリント買収時の調達額
- 投資: 附随費用を含まない。
- リターン: 各時点の株式価値は、以下、(a)~(c)の合計
 - (a) Tモバイル株式の売却、またはTモバイル株式及びドイツテレコム株式のデリバティブ取引による資金化済みの金額(取引に係るコストを除く)
 - (b) 各時点の保有株式価値(保有する株式数に同日終値を乗じて算出。ただし、デリバティブで調達済みの価値を除く)
 - (c) ドイツテレコム株式、Tモバイル株式の配当により受領した金額

米国通信事業者の時価総額

T Mobile

(\$ B) SBGによるスプリント
買収発表前



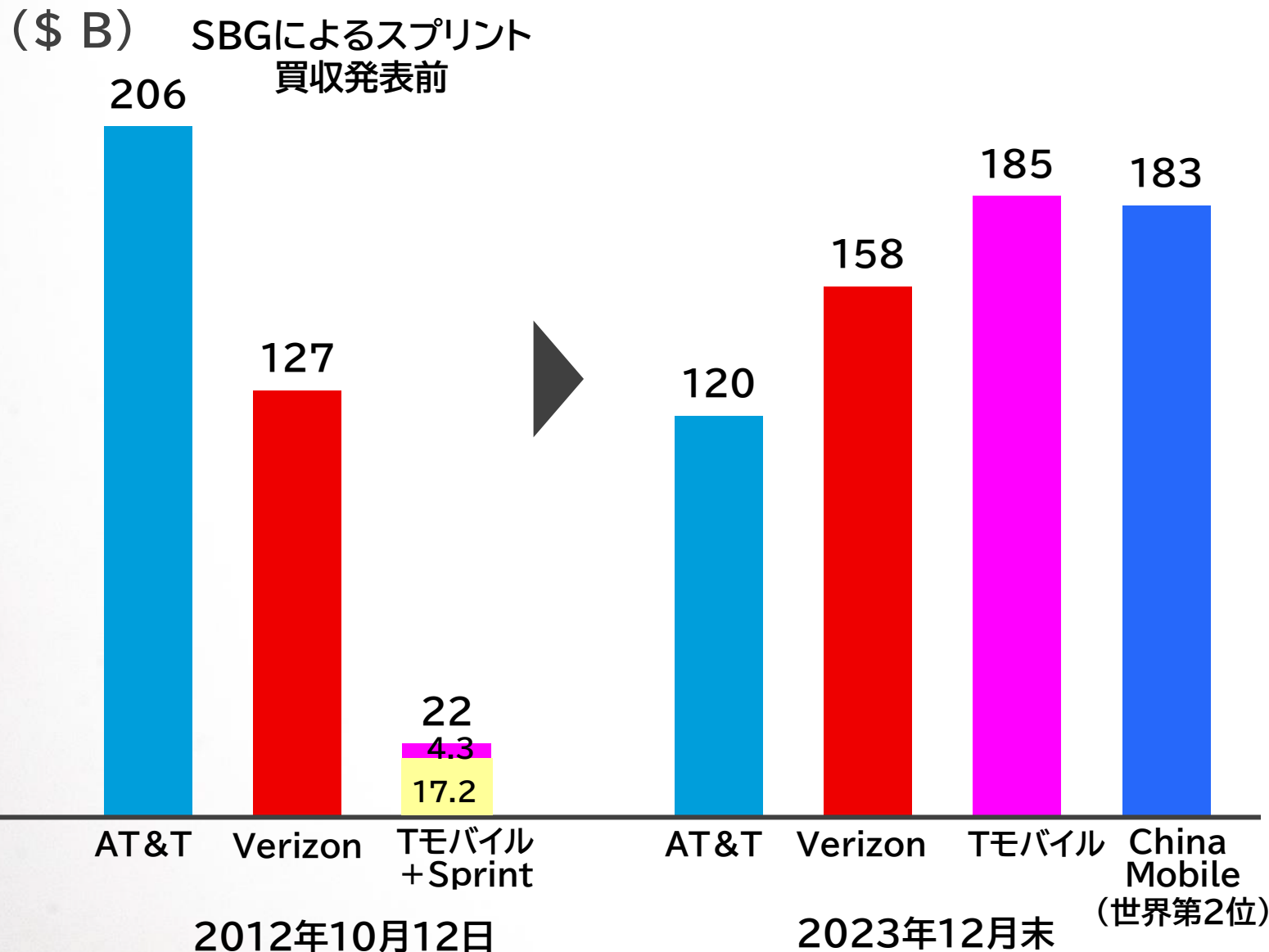
時価総額で
米国最大の
通信事業者に

(出所) Bloombergのデータを基に当社作成

2012年10月12日:当社が2012年10月15日にスプリント買収を発表した直前の営業日。Tモバイル+Sprint:スプリントとTモバイルの時価総額の合計

米国通信事業者の時価総額

T Mobile



時価総額で
世界最大

(出所) Bloombergのデータを基に当社作成
時価総額で世界最大: ICB(Industry Classification Benchmark)のTelecommunication Services Providersに分類される企業において
2012年10月12日:当社が2012年10月15日にスプリント買収を発表した直前の営業日。Tモバイル+Sprint:スプリントとTモバイルの時価総額の合計

Tモバイル株価

T Mobile



重要指標

重要指標

2023年9月末

2023年12月末

NAV
(時価純資産)

16.4兆円

19.2兆円

LTV
(純負債／保有株式価値)

10.6%

11.5%

手元流動性

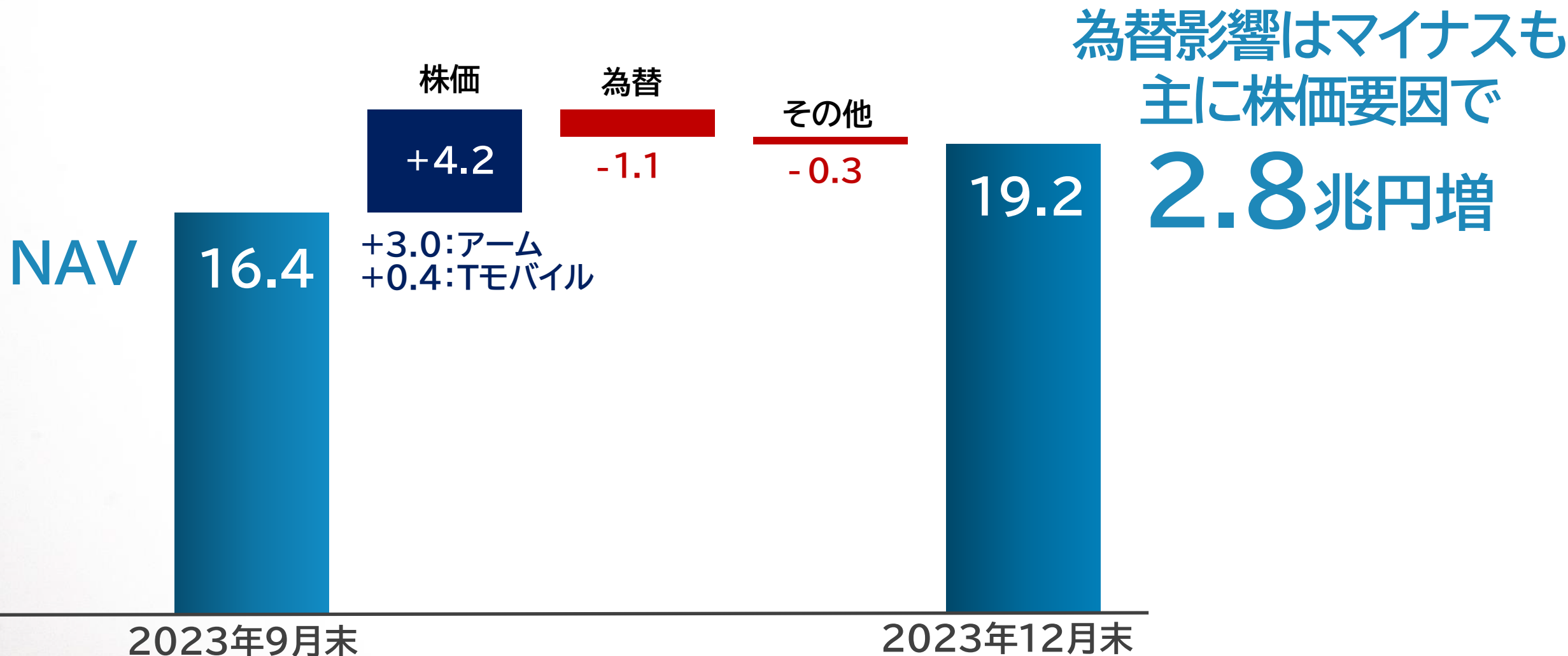
5.1兆円

4.4兆円

NAVおよびLTVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年9月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年12月末時点)」を参照
手元流動性=現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+債券投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース(SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。)

NAV増減要因

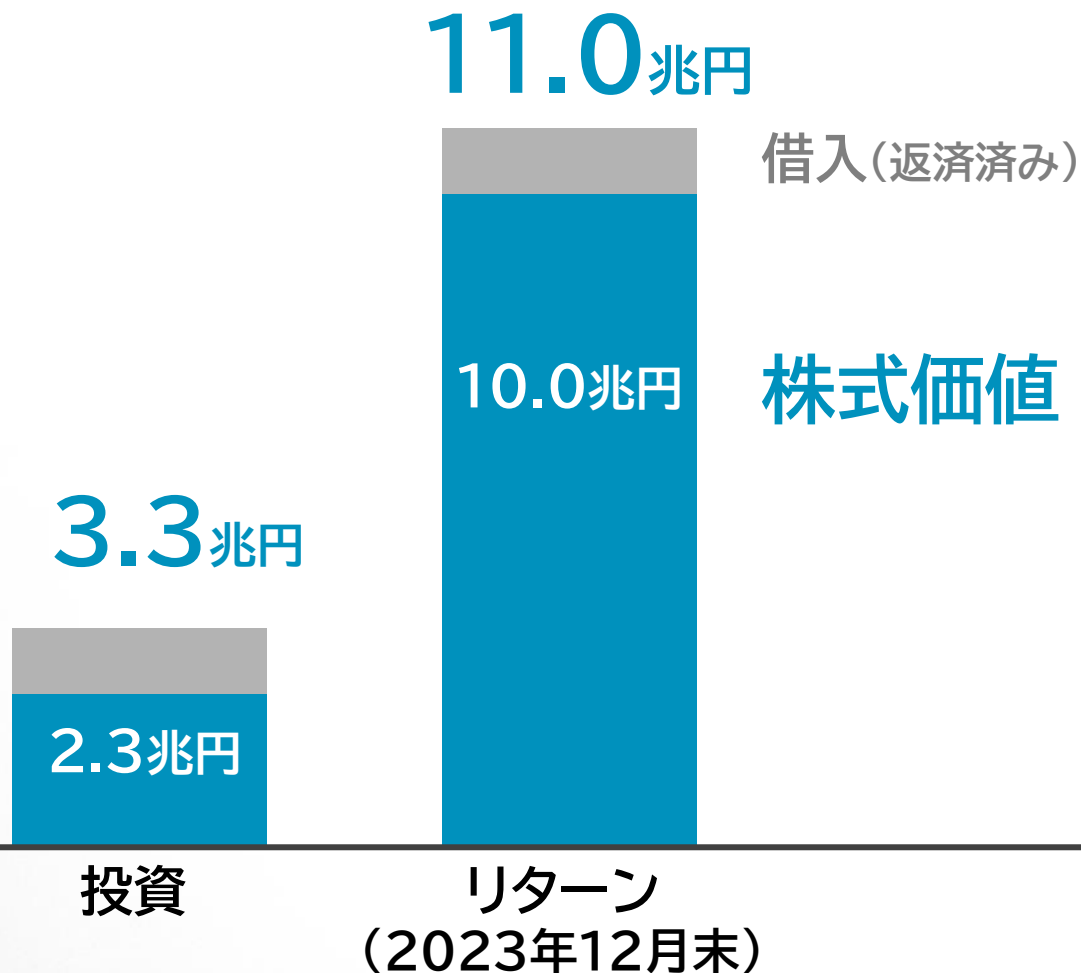
(兆円)



アーム株価



アーム投資の実績



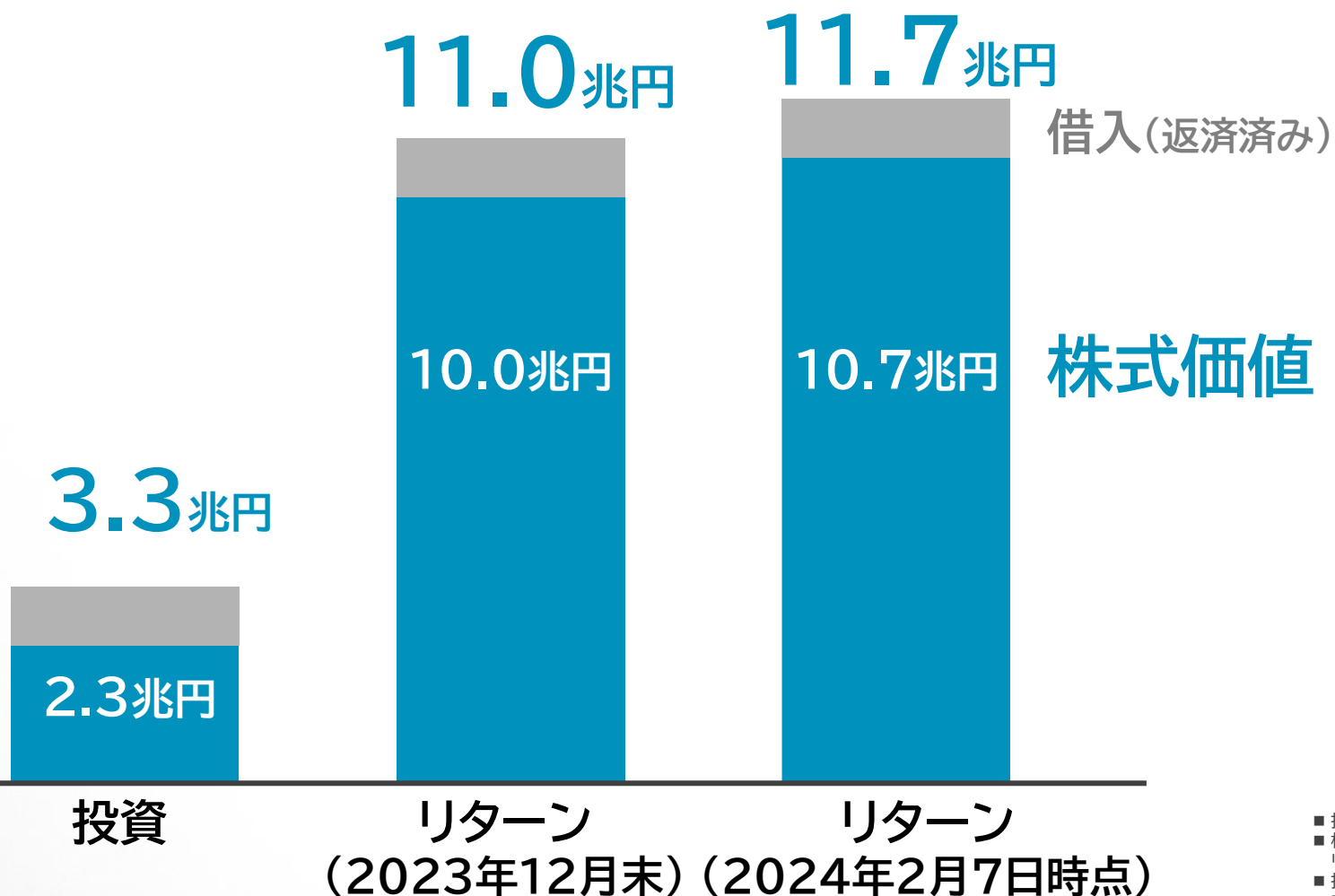
株式IRR
21%

MOIC
4.2倍

(23年12月末時点)

- 投資およびリターン:各取引日または評価日における為替レートにより円換算
- 株式IRRおよびMOIC:初回投資実施から2023年12月31日までの株式価値に係る投資およびリターンをもとに算出。税金考慮前
- 投資:附随費用を含まない。また、SBGとSVFとの間で実施したグループ内取引の影響を含まない
- リターン:株式価値は、アームIPOにおける株式売り出しによる手取り額(SBGで発生した関連費用を除く)と、2023年12月31日時点の保有株式価値(保有する株式数に同月末終値を乗じて算出)の合計から借入を除いた金額
- 借入:日本円による買収時の調達額(2016年9月実行)

アーム投資の実績



株式IRR
22%

MOIC
4.5倍

(24年2月7日時点)

- 投資およびリターン:各取引日または評価日における為替レートにより円換算
- 株式IRRおよびMOIC:初回投資実施から2024年2月7日までの株式価値に係る投資およびリターンをもとに算出。税金考慮前
- 投資:附随費用を含まない。また、SBGとSVFとの間で実施したグループ内取引の影響を含まない
- リターン:株式価値は、アームIPOにおける株式売り出しによる手取り額(SBGで発生した関連費用を除く)と、各時点の保有株式価値(保有する株式数に同日終値を乗じて算出)の合計から借入を除いた金額
- 借入:日本円による買収時の調達額(2016年9月実行)

ソフトバンク(9434)株価および配当

(2024年1月22日)

上場来高値

1,991

33%増

(公開価格比)

配当利回り

4.9%

(23年12月末時点)

SBG受取配当金

9,663億円

(上場来累計)

(円)



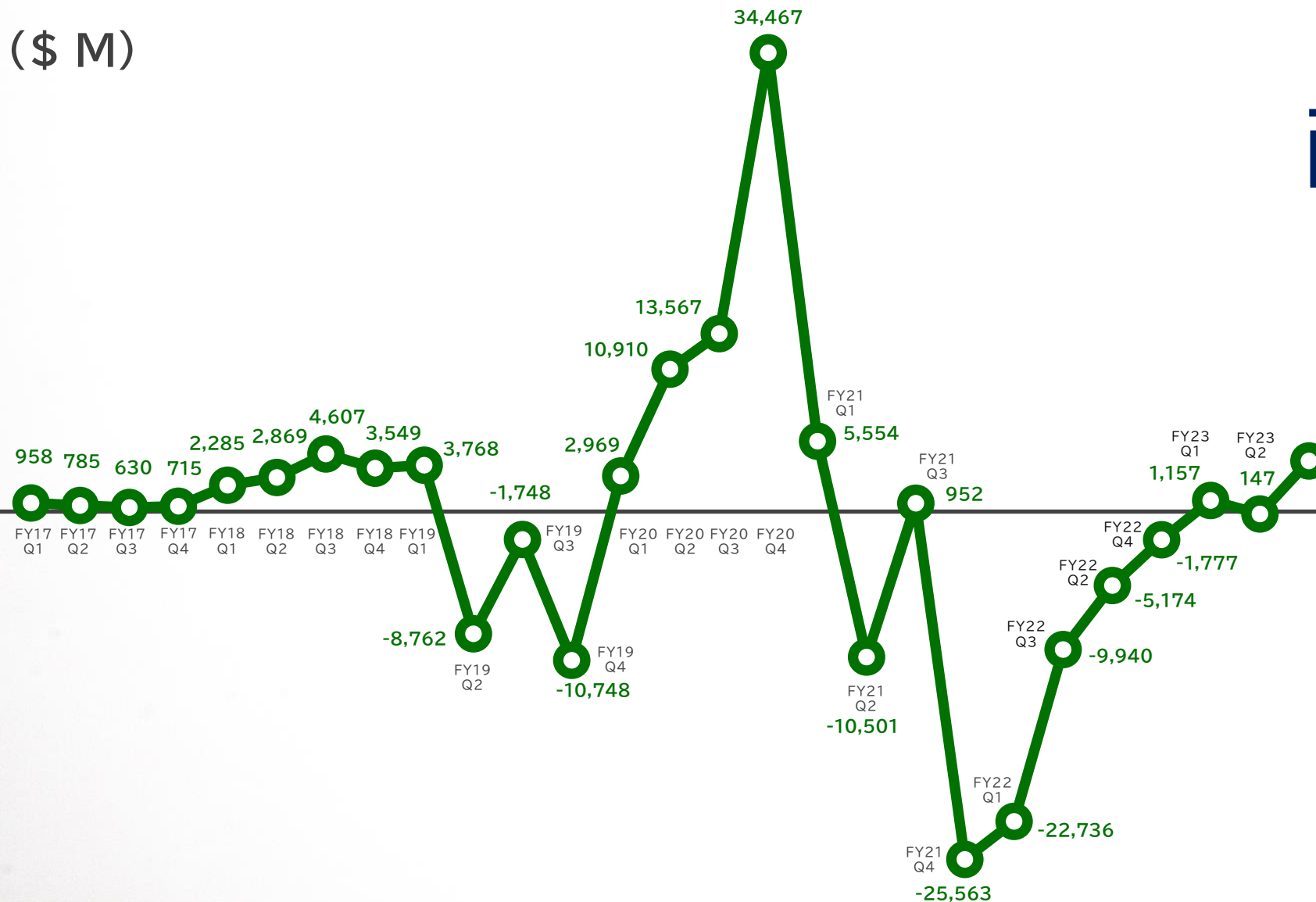
2018年
12月18日

SBG受取配当金: 当社100%子会社のソフトバンクグループジャパンがソフトバンクより受領した配当金額

SVF: 投資損益 (四半期)

USDベース
(SVFセグメント)

(\$ M)



直近3四半期 連続の黒字

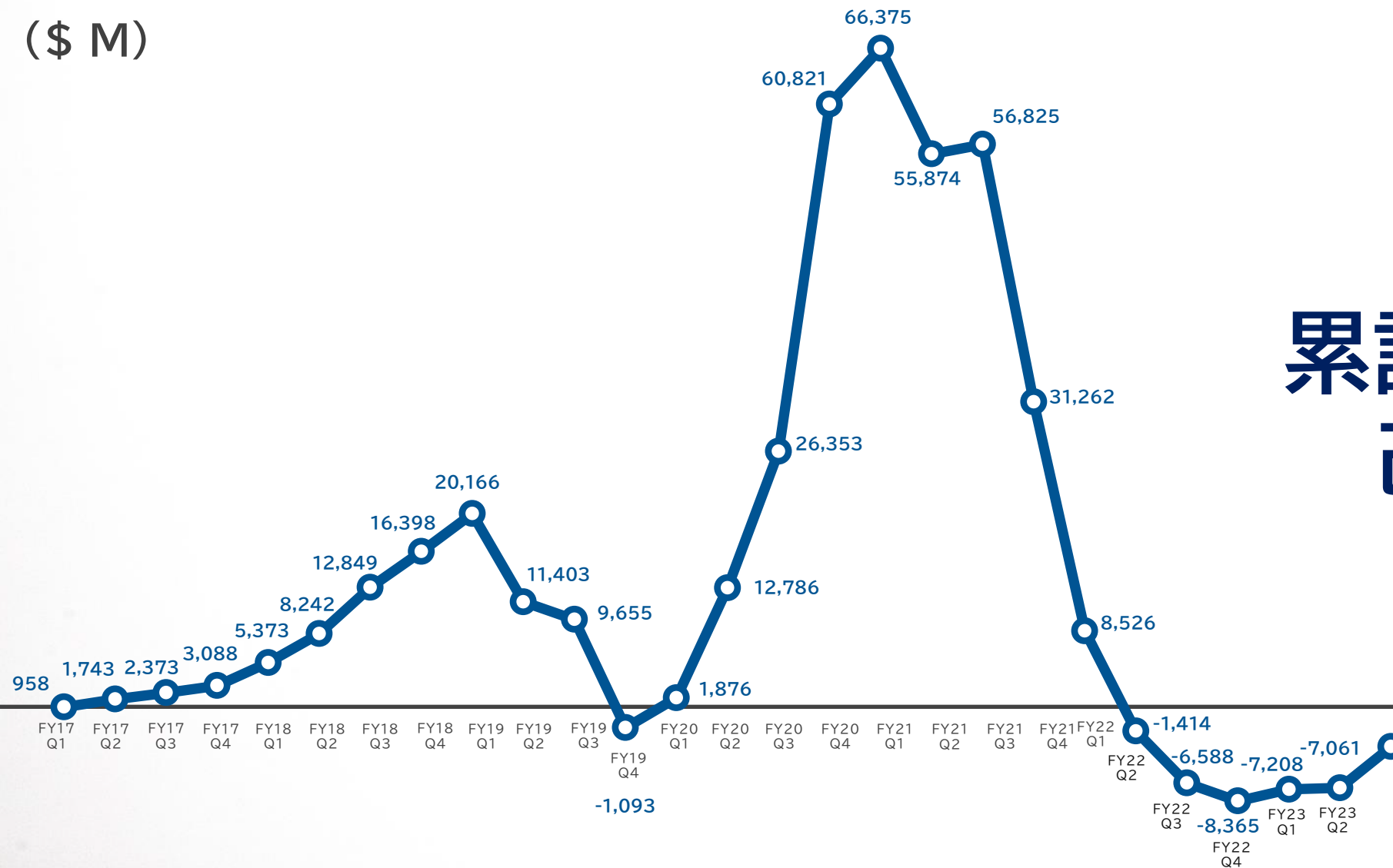
FY23Q3
4,087

投資損益(四半期): SVF事業からの投資損益(セグメント情報)の四半期計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

SVF: 投資損益 (累計)

USDベース
(SVFセグメント)

(\$ M)



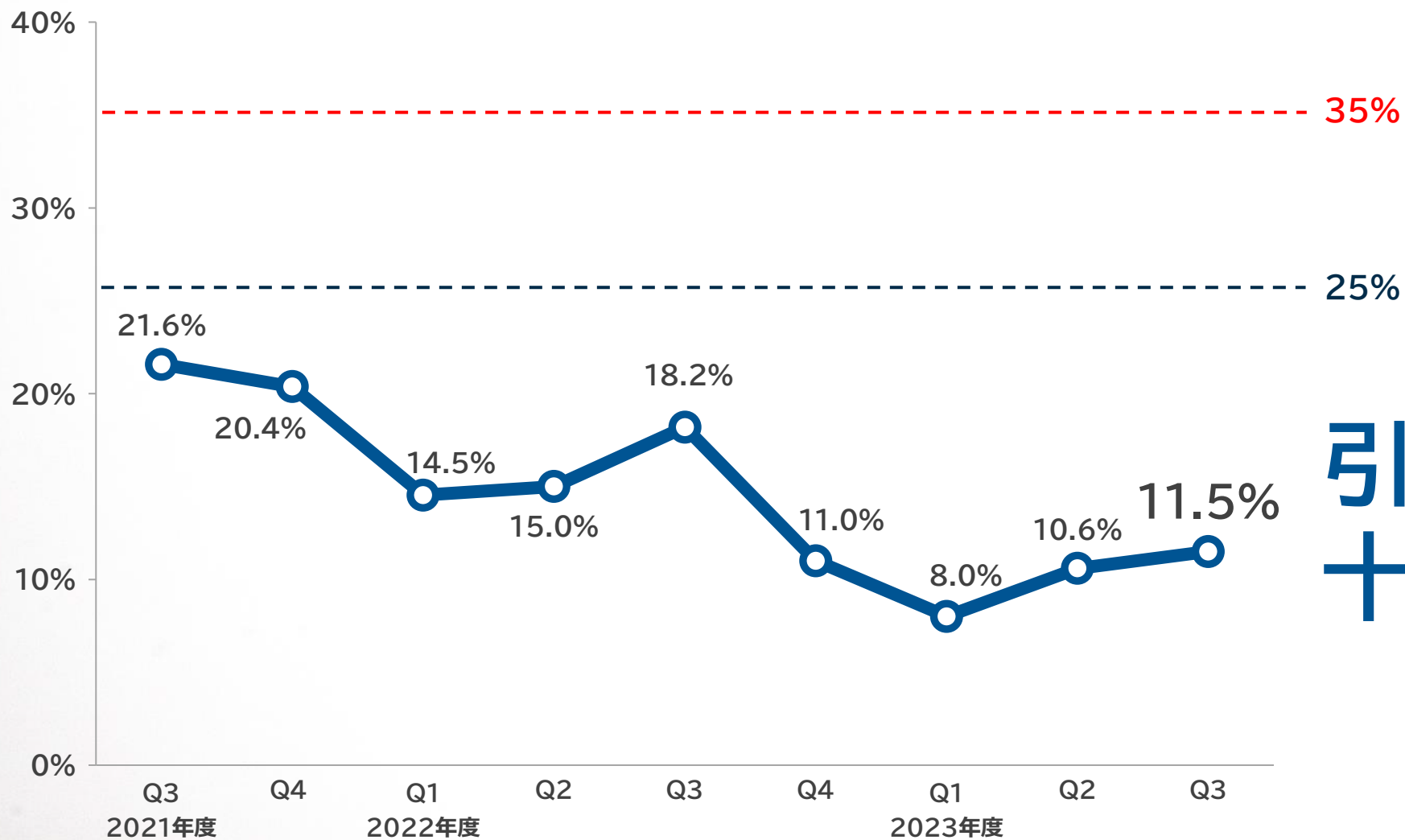
累計投資損益 改善続<

FY23Q3
-2,975

投資損益(累計):SVF事業からの投資損益(セグメント情報)の2017年度Q1からの累計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

LTV

アセットバック・ファイナンス除く

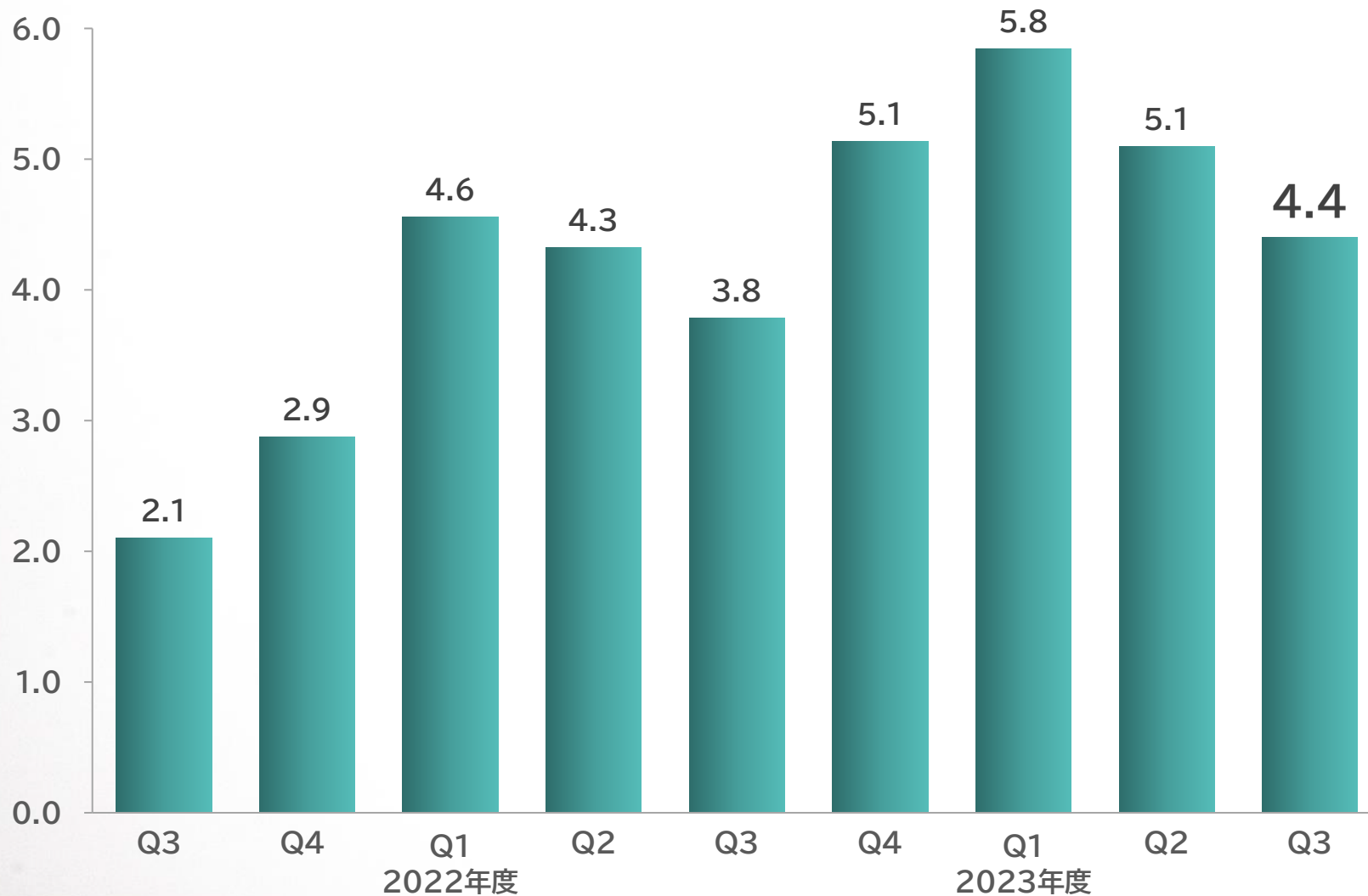


引き続き低水準
十分な調達余力

各四半期末時点
LTVの算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照

手元流動性

(兆円)



高水準を維持

各四半期末時点
手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。)

為替影響 (2023年度Q3)

9月末比円高はNAVと資本にマイナスの影響

(2023年9月末)

(2023年12月末)

1米ドル = 149.58円 → 141.83円

NAVへの影響

-1.1兆円

会計への影響

資本

-0.9兆円

連結純利益

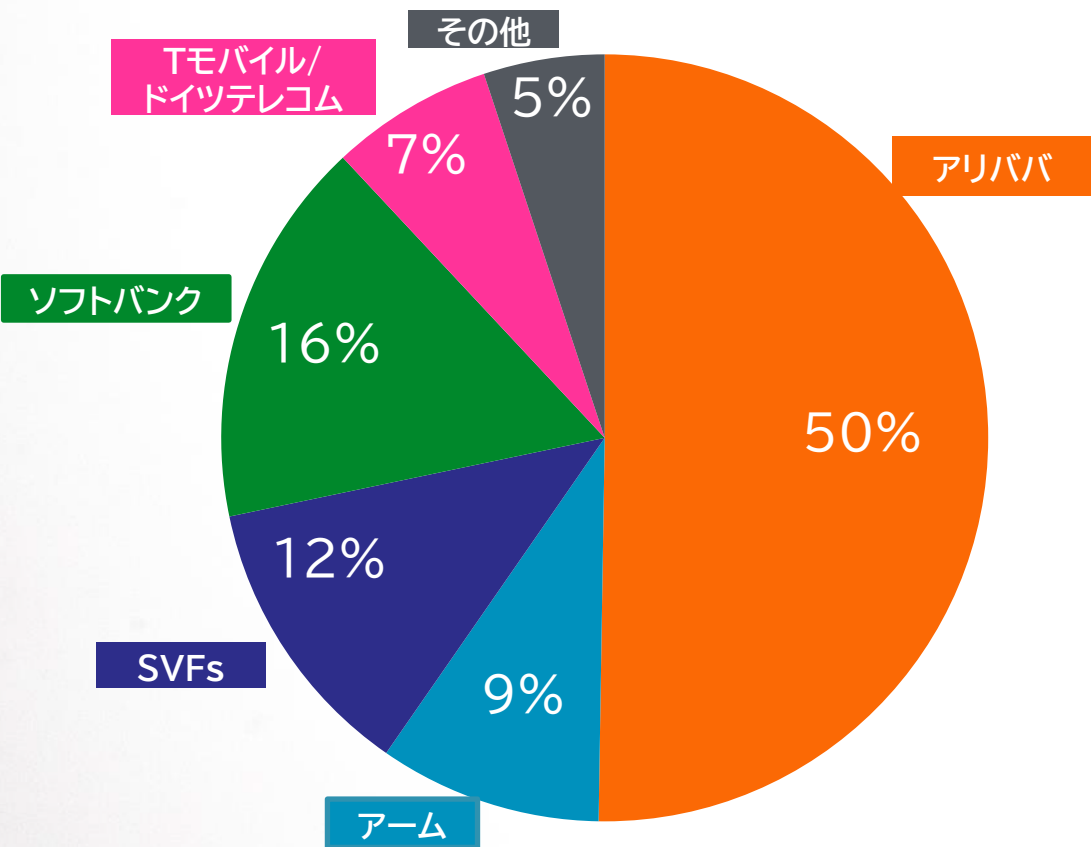
+0.3兆円

アリババからAIへのシフト

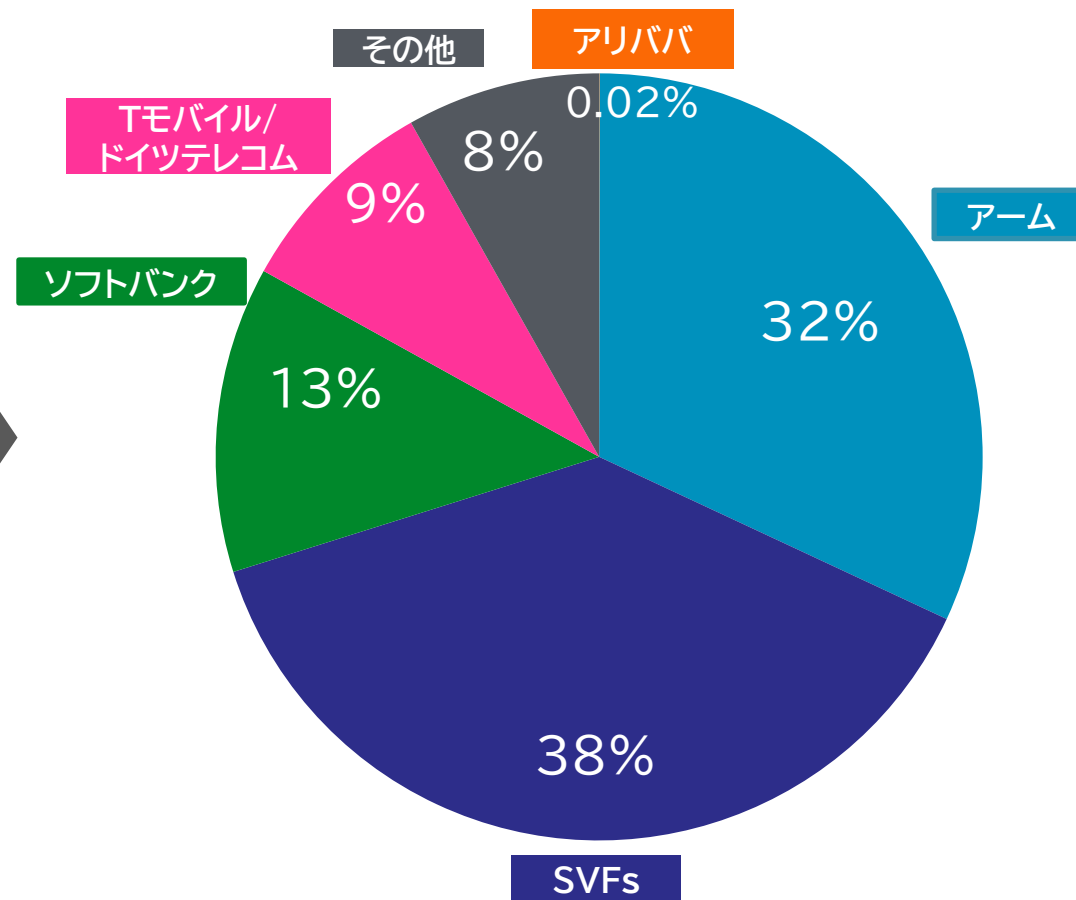
保有資産構成の変化

保有株式価値ベース
アセットバック・ファイナンス除く

2019年12月末



2023年12月末

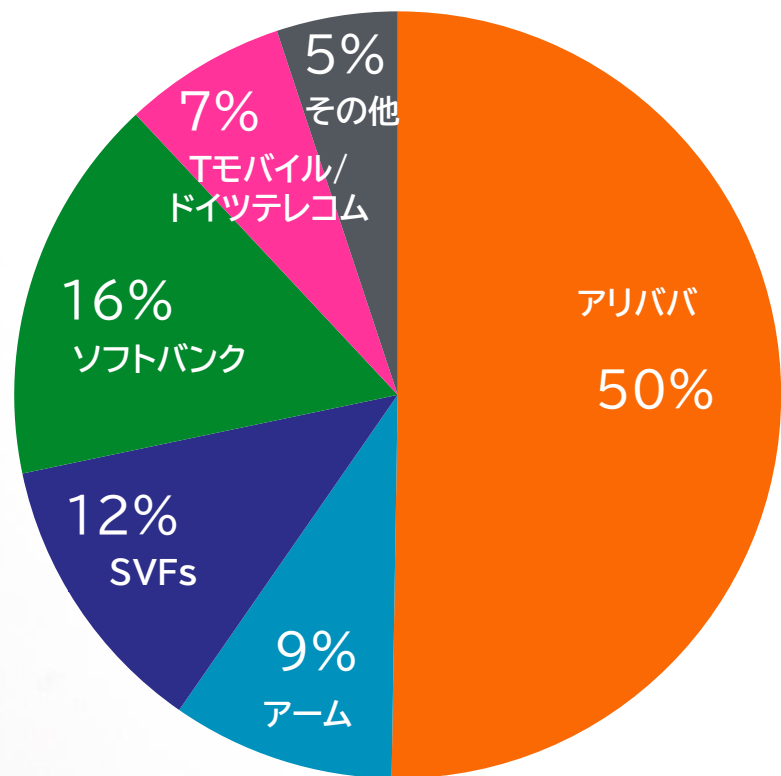


各時点の保有株式価値の構成割合
保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
SVFs:SVF1/SVF2/LatAmファンドの合計

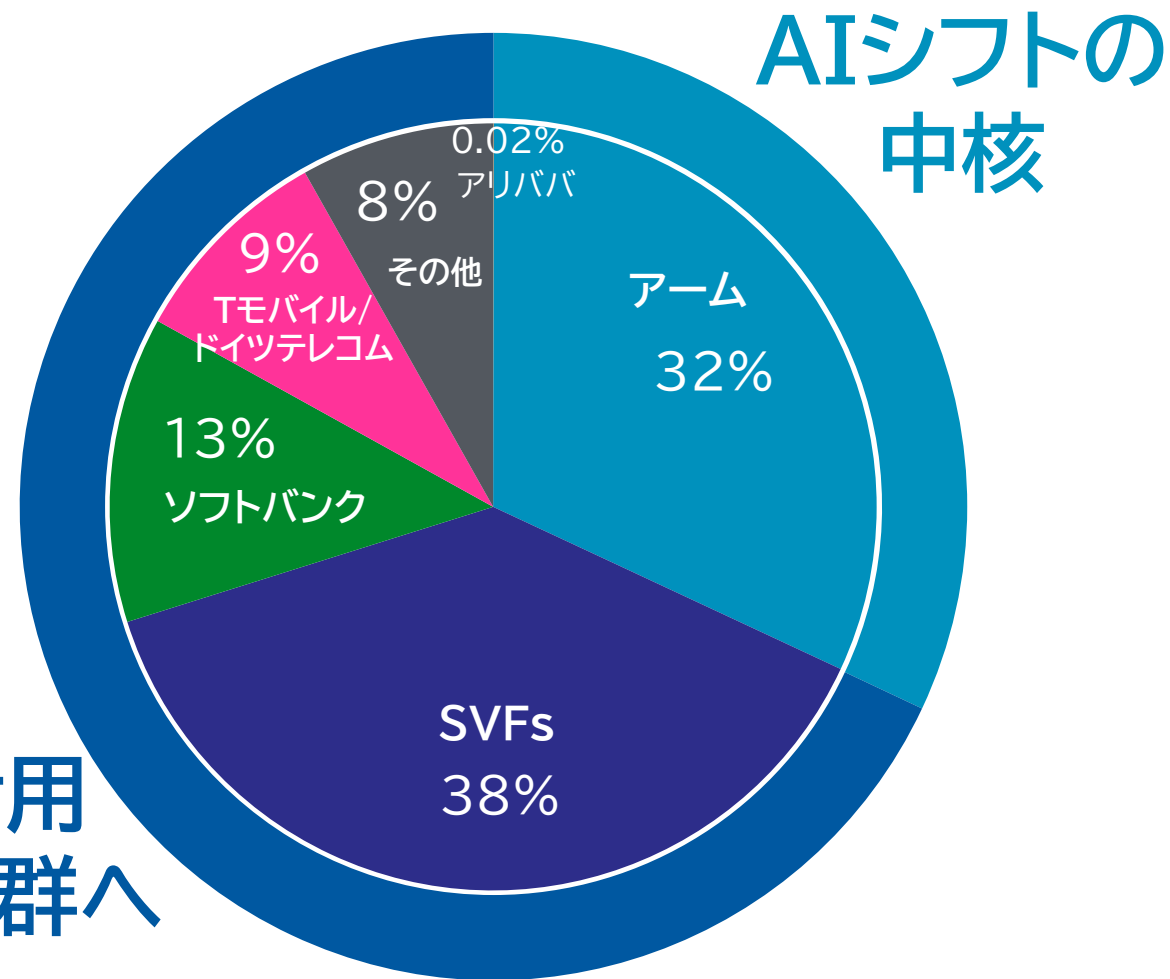
保有資産構成の変化 = AIへのシフト

保有株式価値ベース
アセットバック・ファイナンス除く

2019年12月末



2023年12月末



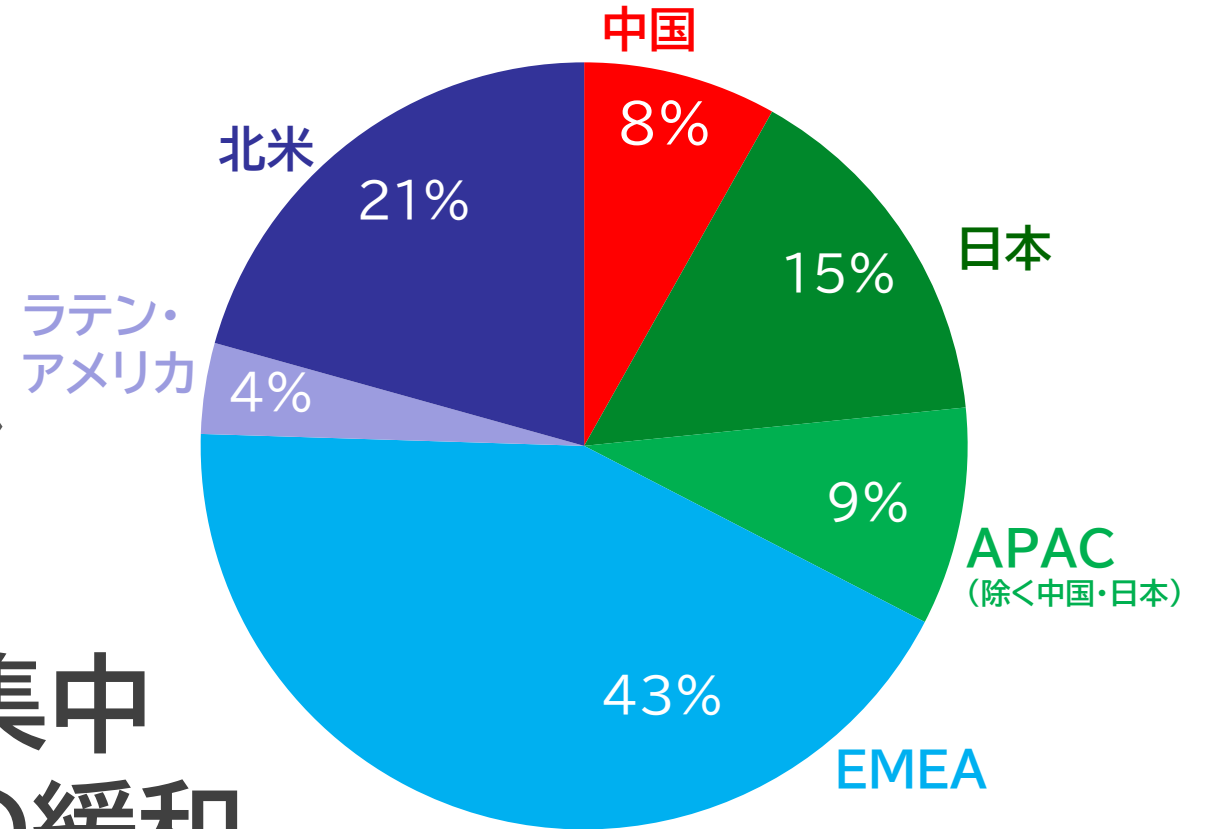
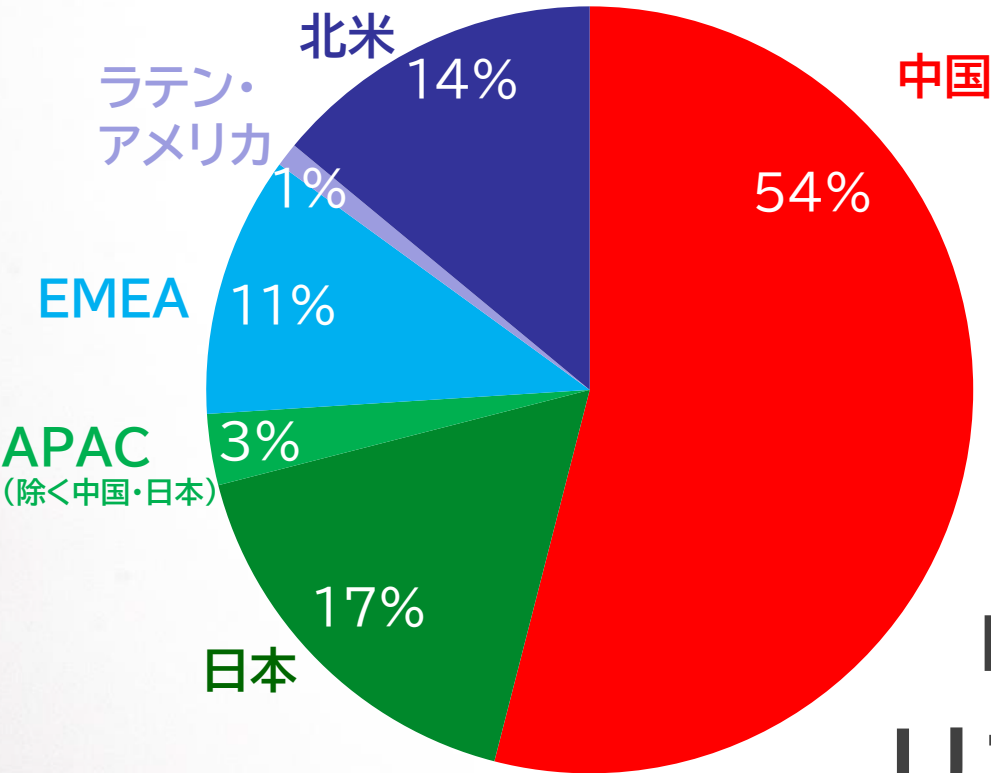
各時点の保有株式価値の構成割合
保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
SVFs:SVF1/SVF2/LatAmファンドの合計
本スライドは、投資事業のAIへのシフトのイメージを説明する目的で提供されている。

地域構成の変化

保有株式価値ベース
アセットバック・ファイナンス除く

2019年12月末

2023年12月末

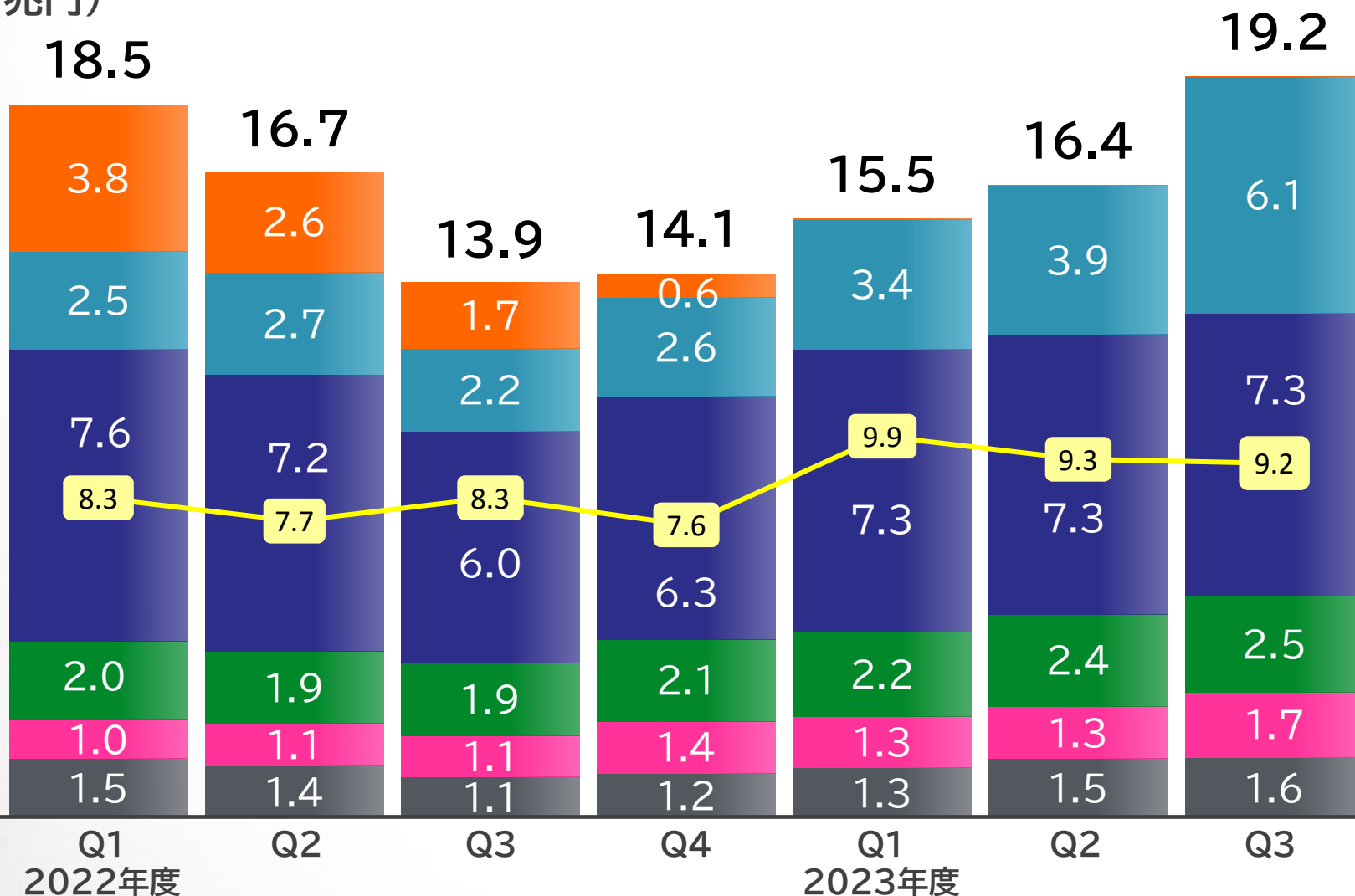


中国集中
リスクの緩和

各時点の保有株式価値を投資先の本社所在地に基づいた地域に分類した構成比
 中国:アリババ、SVF1およびSVF2(中国相当)、その他の中国投資の合計
 日本:ソフトバンク、SVF1およびSVF2(日本相当)、その他の日本投資の合計
 APAC(除く中国・日本):SVF1およびSVF2(中国・日本を除くAPAC相当)、その他の中国・日本を除くAPAC投資の合計
 EMEA:アーム、ドイツテレコム、SVF1およびSVF2(EMEA相当)、その他のEMEA投資等の合計
 ラテン・アメリカ:LatAmファンド、SVF1(ラテン・アメリカ相当)、その他のラテン・アメリカ投資の合計
 北米:Tモバイル、SVF1およびSVF2(北米相当)、その他の北米投資の合計

NAV構成の変化

(兆円)

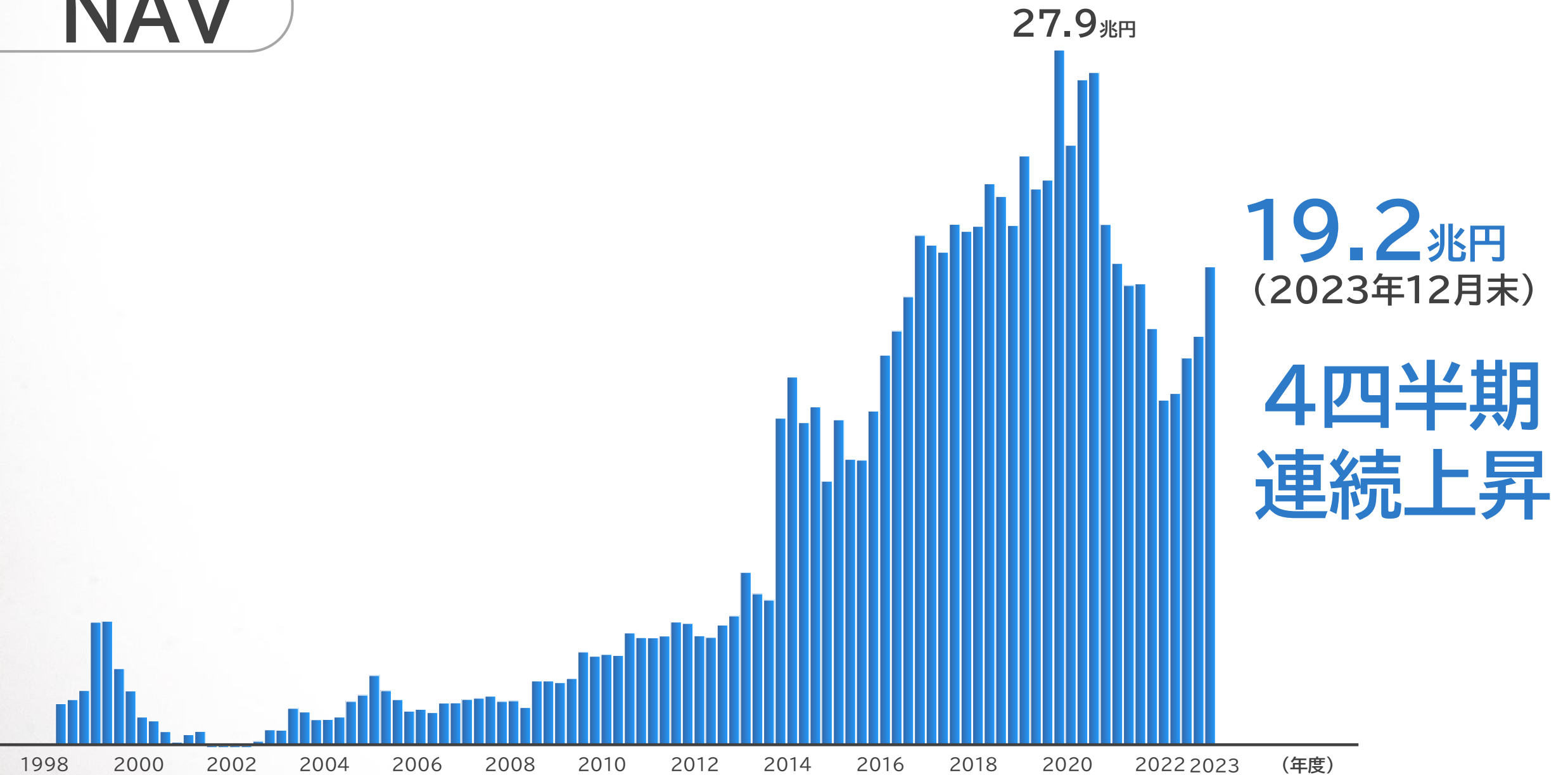


アリババから
アームを中核とした
資産構成にシフト



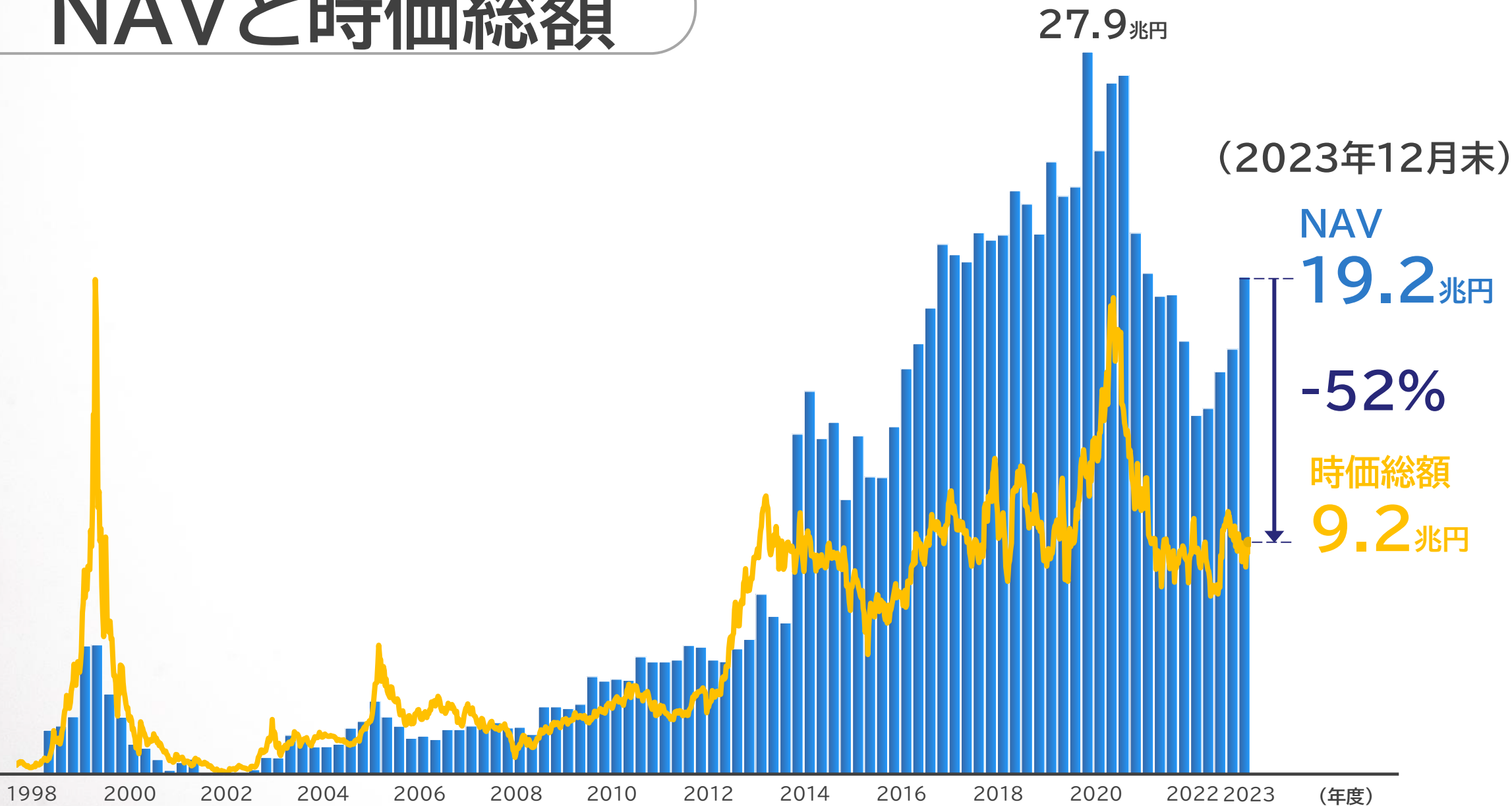
各四半期末時点の保有株式価値の割合で按分
NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考株主値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない

NAV



各四半期末時点
NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年12月末時点)」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない。

NAVと時価総額

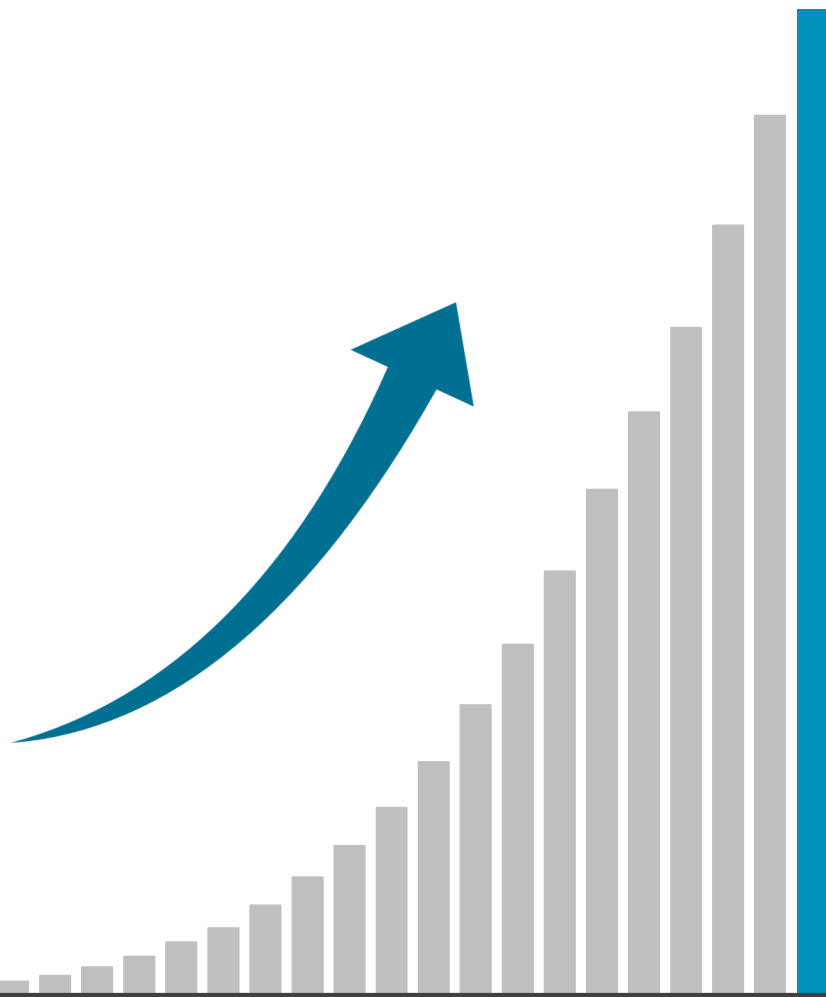


各四半期末時点
NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年12月末時点)」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない。
時価総額: 自己株式を除く発行済株式総数を基に算出

Arm

アームベースチップ累計出荷数

(億個)



2023年9月までの累計出荷実績

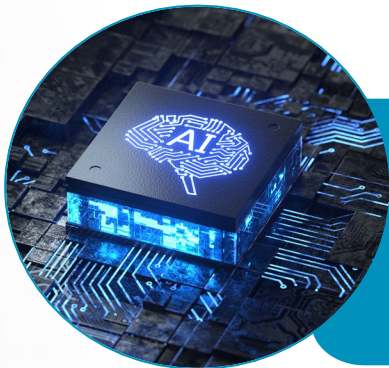
2,800億個超

1990年

2023年(各年9月末時点)

(出所) Arm
アームベースチップの出荷実績は、出荷の発生から1四半期遅れてライセンスーから報告を受けるため、本項には2023年9月までの実績を掲載。

業界リーダーとの戦略が進展



ルネサス エレクトロニクス

リアルタイム処理に優れた高性能マイクロコントローラー
RA8M1でアームテクノロジーを採用



MediaTek

高性能スマートフォン向けチップDimensity 9300に
アームベースCPUおよびGPUを採用

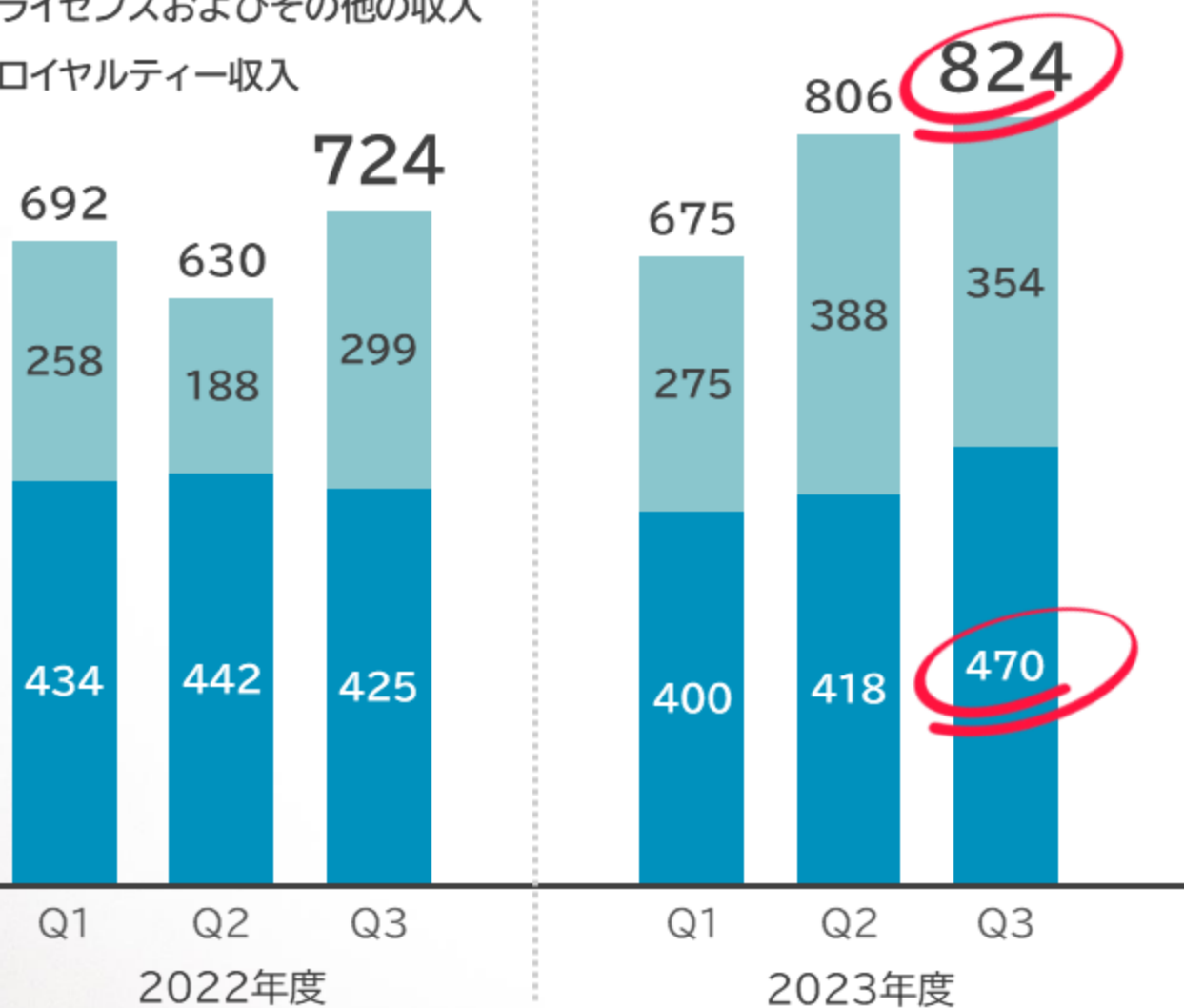
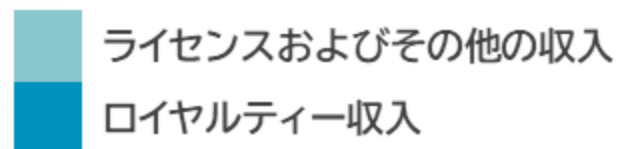


Microsoft

同社初の自社開発クラウドサービス向けCPUはアーム
ベースで、現世代チップ比で40%パフォーマンス向上

四半期売上高（米国会計基準）

(\$ M)

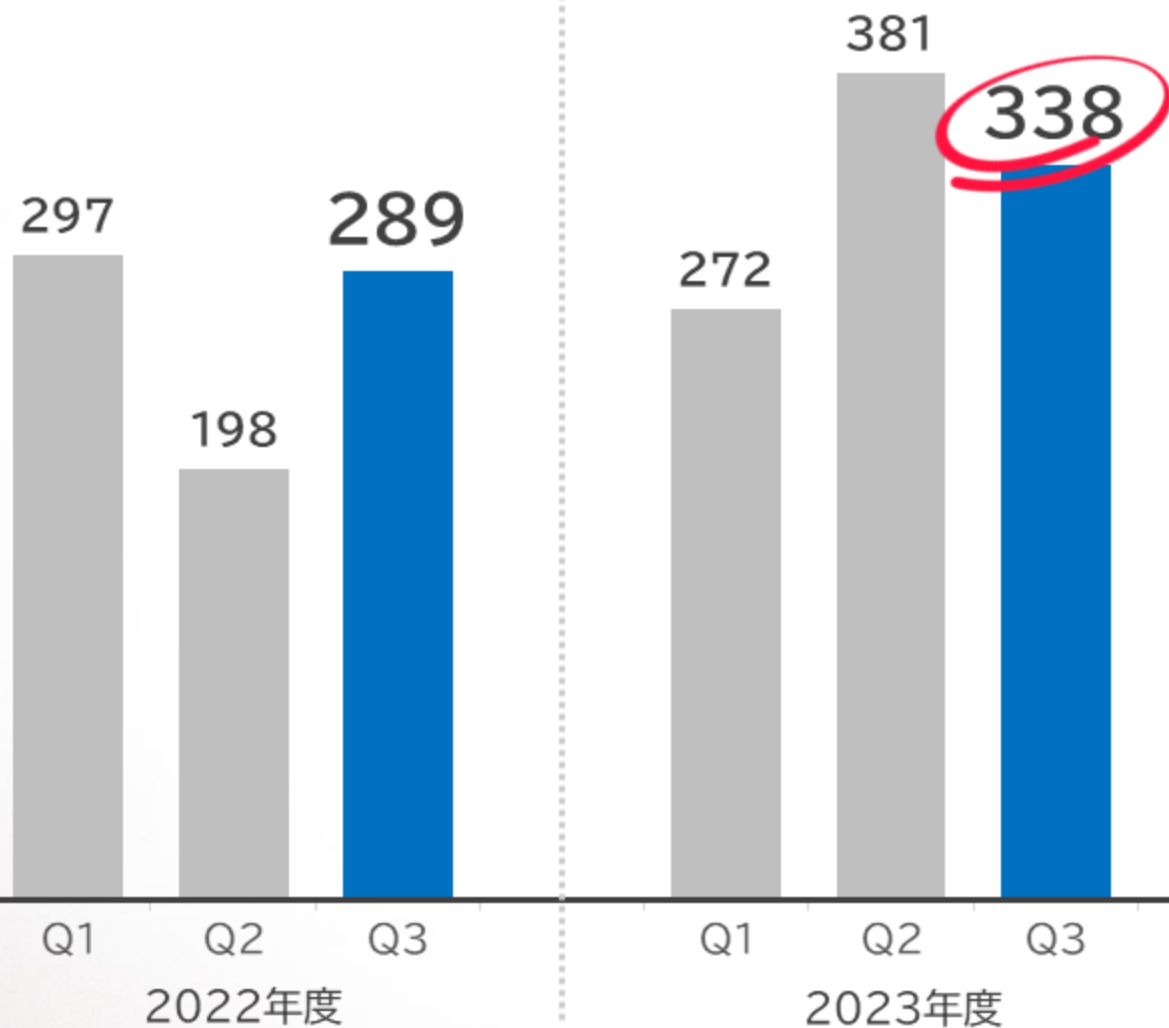


売上高
引き続き過去最高

ロイヤルティー収入
過去最高

四半期調整後営業利益（米国会計基準）

(\$ M)



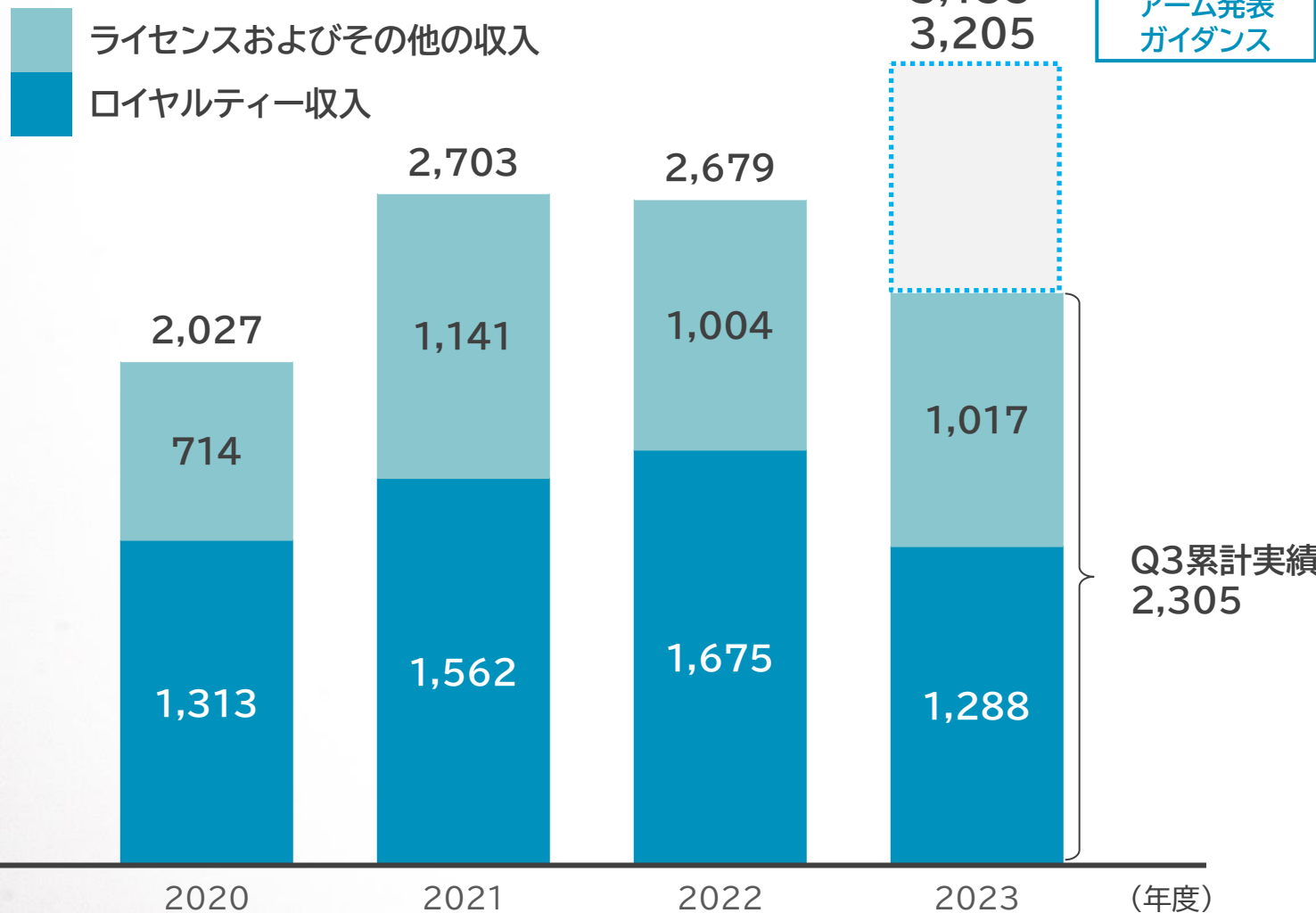
前年同期比
17%増

(出所) Arm
調整後営業利益は「Non-GAAP Operating Income」を示す。GAAP基準数値とNon-GAAP数値
間の差異については、アームの「FYE24-Q3 Shareholder Letter」を参照
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

年間売上高（米国会計基準）



(\$ M)



堅調に推移

(出所) Arm
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照
「ライセンスおよびその他の収入」は「ロイヤルティー収入」以外の収入を指す。

売上高通期ガイダンスを上方修正

	2023年度 Q4（予）	2023年度 通期（予）
売上高 (参考:旧ガイダンス)	\$850M - \$900M -	\$3,155M - \$3,205M (\$2,960M - \$3,080M)
調整後営業費用	\$490M程度	\$1,700M程度
調整後EPS (完全希薄化後)	\$0.28 - \$0.32	\$1.20 - \$1.24

（出所）Arm
 調整後営業費用は「Non-GAAP operating expense」、調整後EPS(完全希薄化後)は「Non-GAAP fully diluted earnings per share」を示す。
 第2四半期に報告された第4半期の調整後営業費用のガイダンスに含まれていた、第4四半期に発生する株式報酬の権利確定に関連する雇用税とこれらの税金に対する究開発税額控除を差し引いた純額は、
 本調整後営業費用のガイダンスには含めていない。
 詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

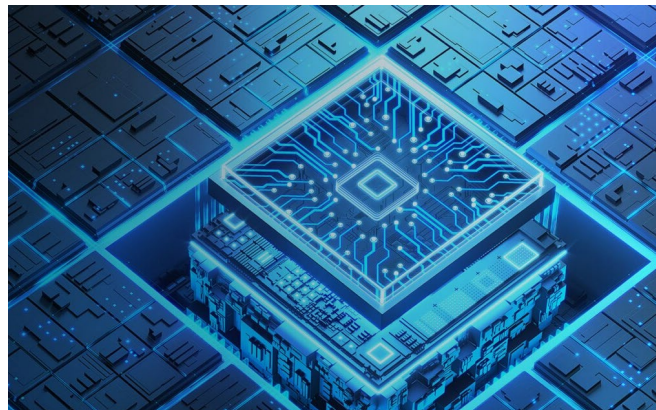
アームの更なる成長ドライバー

ロイヤルティー収入



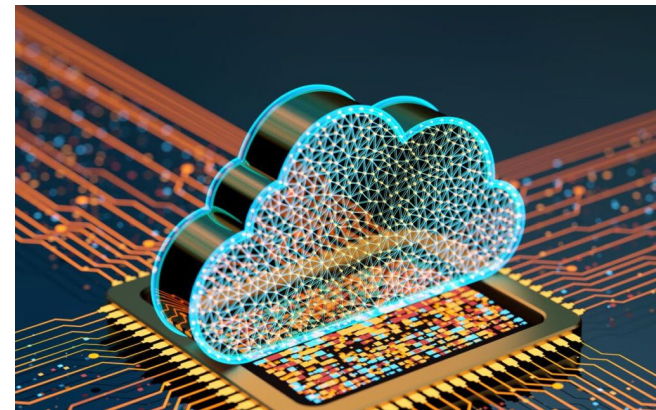
高まる需要に伴う
ロイヤルティー収入の増加

複数のIPコアを組み合わせた「サブシステム」



顧客の開発コストを低減し
市場投入期間を短縮

AI需要の拡大

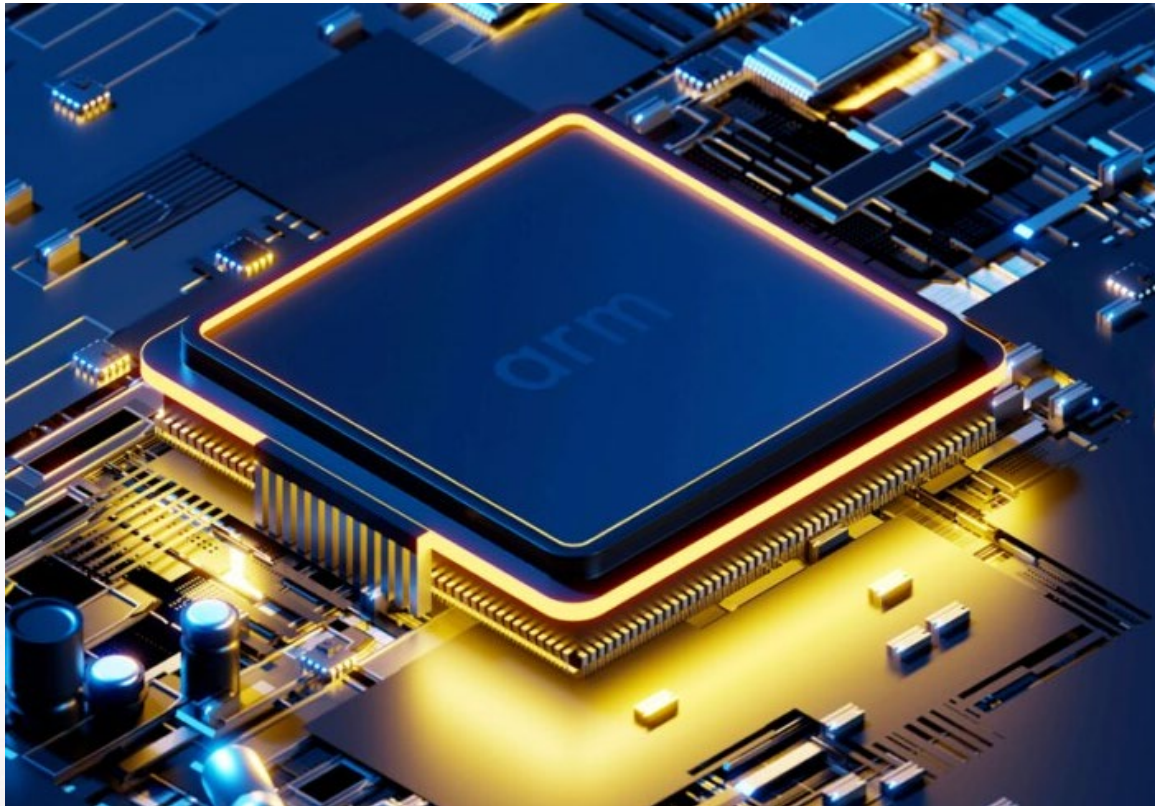


AIに不可欠なエネルギー効率
が高く、高性能なチップ設計

アームベースチップの関係企業で構成された
世界最大級のネットワーク

ロイヤルティ収入による成長

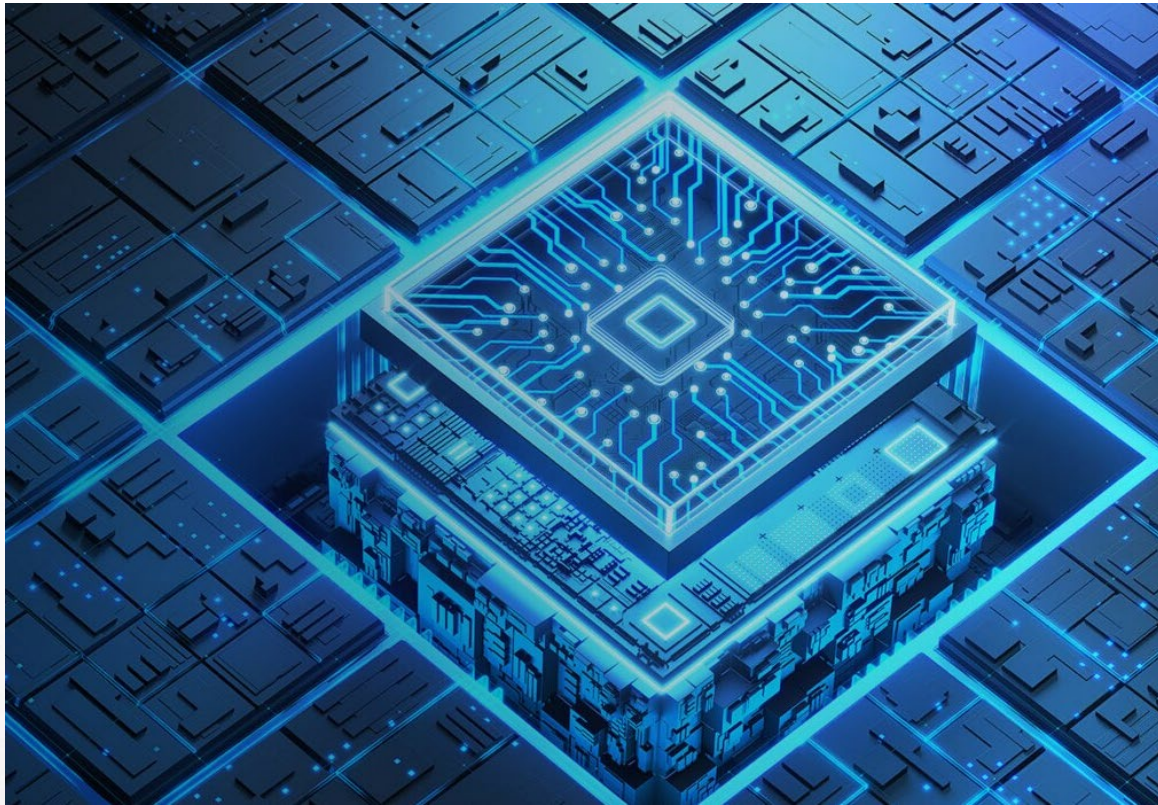
チップの出荷数の増加とロイヤルティ単価の上昇から、
ロイヤルティ収入は増加



- ✓ 半導体市場の成長
- ✓ 新たな分野において、アームの市場シェア拡大
- ✓ アームの高度な技術を多く用いた最新チップのロイヤルティ単価は上昇傾向に

サブシステムによる成長

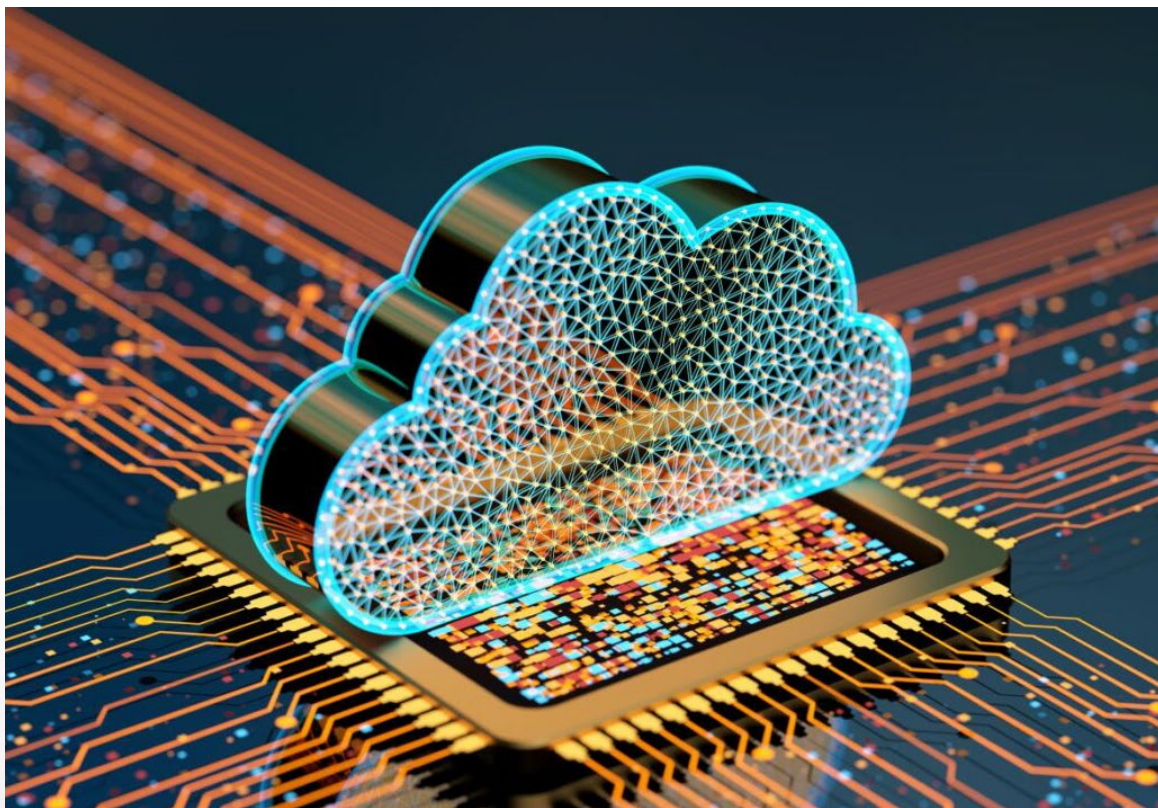
個々のIPライセンスではなく事前統合された複数のIPライセンスの組み合わせ(サブシステム)を提供



- ✓ 特定の市場や用途向けの開発コストを削減し、製品の市場投入までの時間を短縮
- ✓ アームのサブシステムをベースに開発されたマイクロソフトのクラウド向けAzure Cobalt CPUは、開発コストの削減に加え、ワットあたりのパフォーマンスが40%向上

AI需要の拡大による成長

サーバーから手元の端末に至るまでAIにはエネルギー効率が高く、高性能かつコスト効果の優れたチップが不可欠



- ✓ 高エネルギー効率かつ高性能
- ✓ 画像生成、リアルタイム翻訳などの生成AIや大規模言語モデル(LLM)のタスクへ対応
- ✓ アームベースチップで稼働するAIはすでに至る所に

世界最大級のネットワーク

arm

アームベースのチップをあらゆる製品で正常に稼働させるために、
関係企業が協力する世界最大級のネットワークを構築

約 **70%**

世界の人口のうち、
アームテクノロジーを
使う人の割合

1,500 万人以上

アームベースチップ
の開発に携わる
関係者

1,000 社以上

アームベースチップ
の出荷までに関わる
パートナー企業

“AIは
あらゆる場所に”

“AIには
アームが
不可欠”

アームCEO レネ・ハース CES 2024での発言

投資戦略・SVF

SVF:ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業。SVF1、SVF2およびLatAmファンドを含む。
本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

SVF: 投資損益 (2023年度Q3)

USDベース
(SVFセグメント)

合計	SVF1	SVF2	LatAmファンド
	+\$1,940M ByteDance業績好調	+\$1,703M ・公開投資先の株価上昇 ・未公開投資先の資金調達ラウンドでの評価額上昇	+\$281M 公開投資先の株価上昇
+\$4,087M (+6,007億円)	その他	+\$163M	

SVF2: 投資損益 (四半期)

USDベース
(SVF2)

(\$ M)

2023年度Q2

2023年度Q3

+\$1,136M (54社)

+\$2,919M (96社)

価値増

株価上昇

資金調達ラウンドでの
評価額上昇など

公開投資先

+151 (7社)

+1,158
(8社)

未公開投資先

+984 (47社)

+1,761
(88社)

未公開投資先

-1,546
(95社)

-929 (74社)

-287 (9社)

価値減

公開投資先

-1,674
(11社)

-\$1,216M (83社)

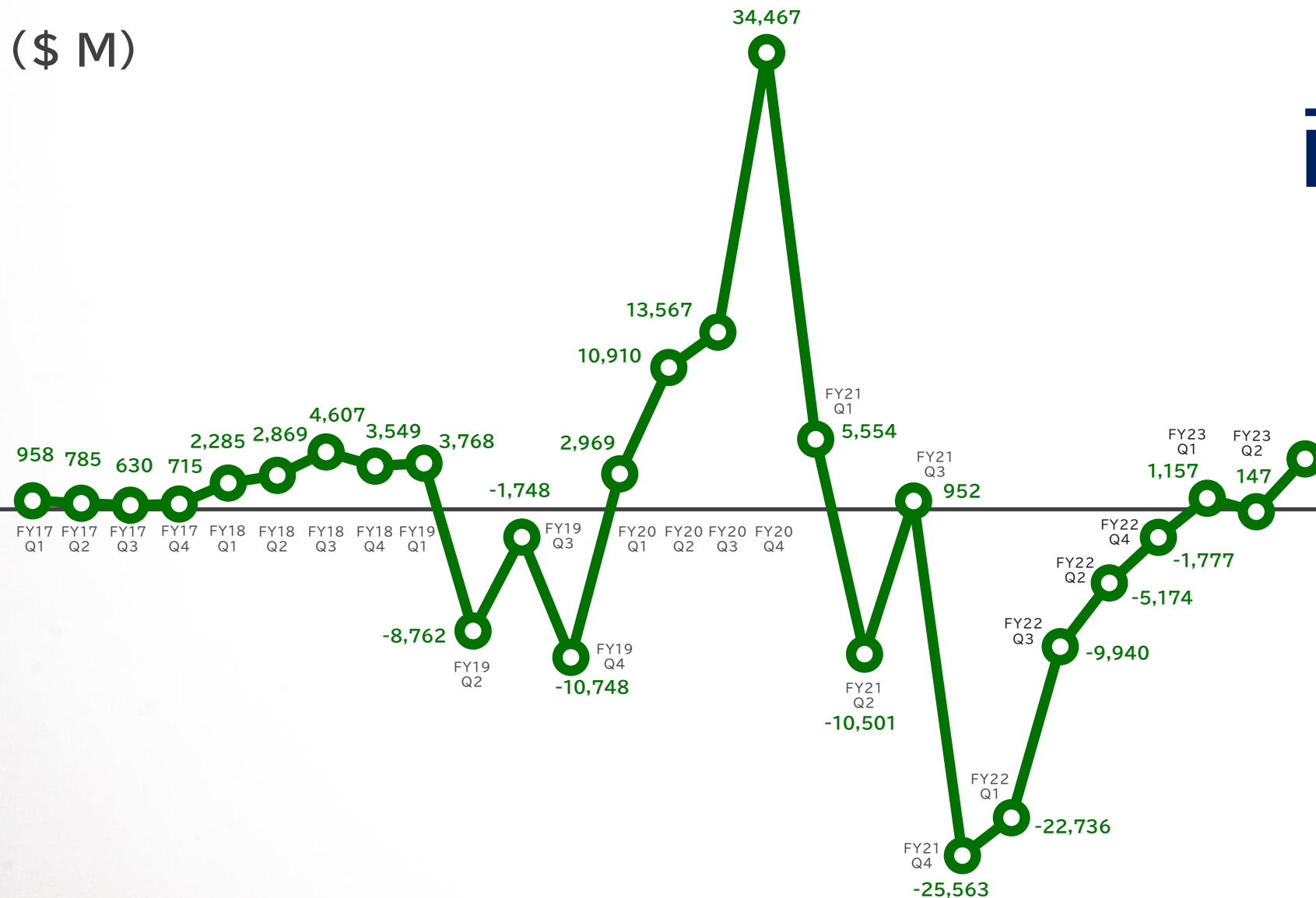
-\$3,220M (106社)

投資損益: SVF2からの投資損益(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2023年度Q2および2023年度Q3における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
(出所) SBGAおよびSBIA
公開投資先: 店頭市場で取引されている投資先を含む。公開投資先の一部エグジットまたは全部エグジットによる投資損益などを含む。

SVF: 投資損益 (四半期)

USDベース
(SVFセグメント)

(\$ M)



直近3四半期 連続の黒字

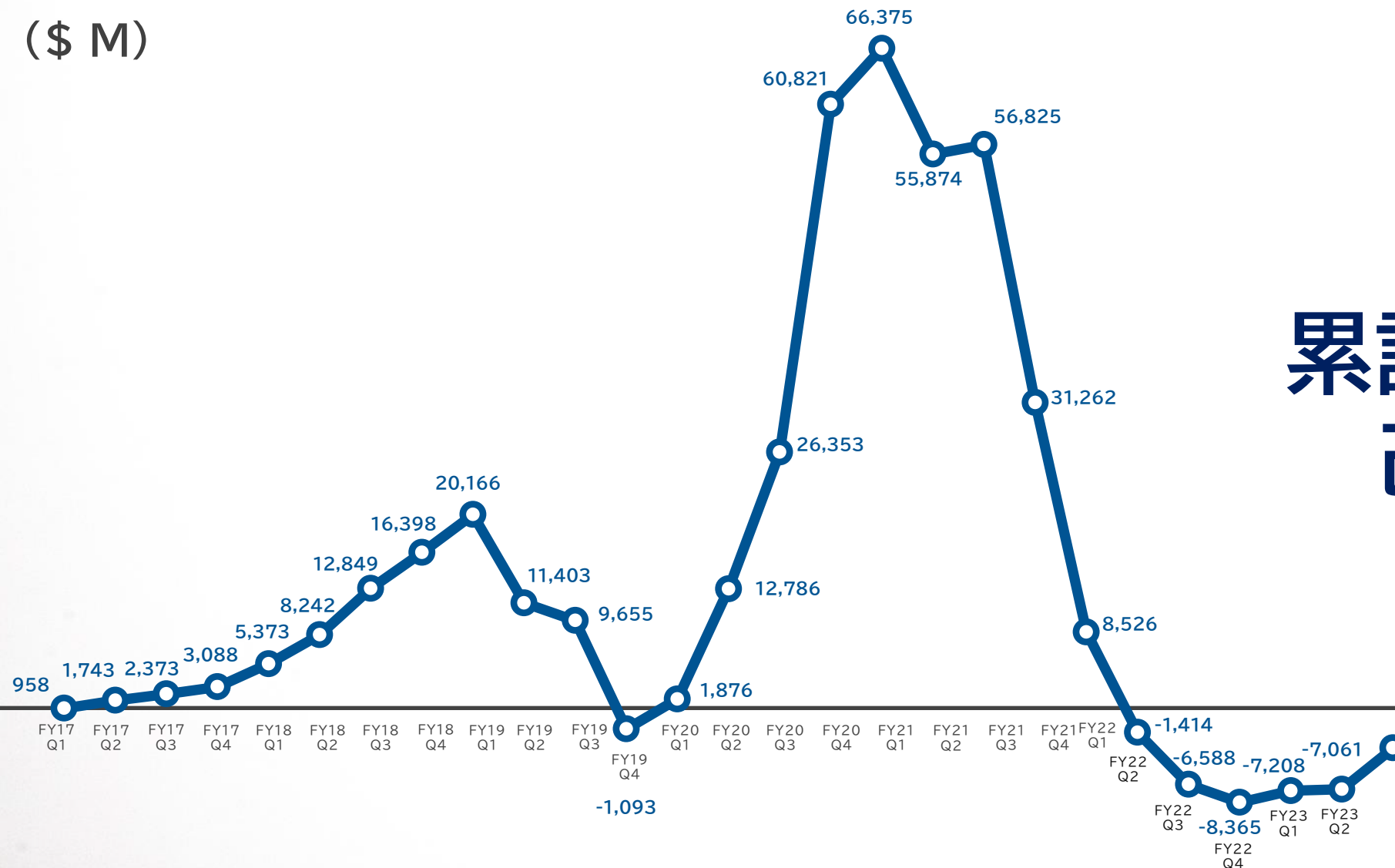
FY23Q3
4,087

投資損益(四半期): SVF事業からの投資損益(セグメント情報)の四半期計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

SVF: 投資損益 (累計)

USDベース
(SVFセグメント)

(\$ M)



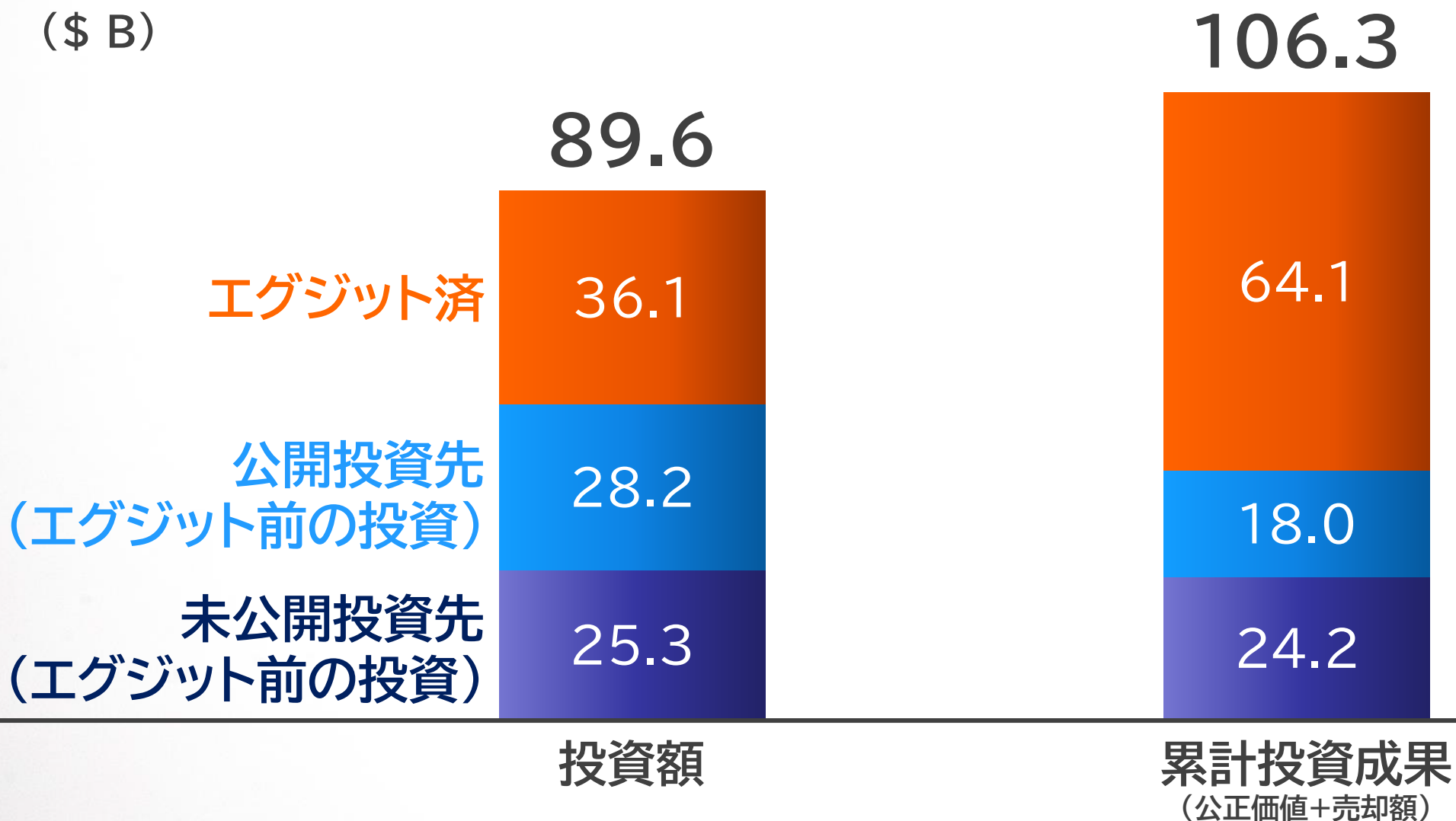
累計投資損益 改善続<

FY23Q3
-2,975

投資損益(累計):SVF事業からの投資損益(セグメント情報)の2017年度Q1からの累計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

SVF1: 累計投資成果 (2023年12月末時点)

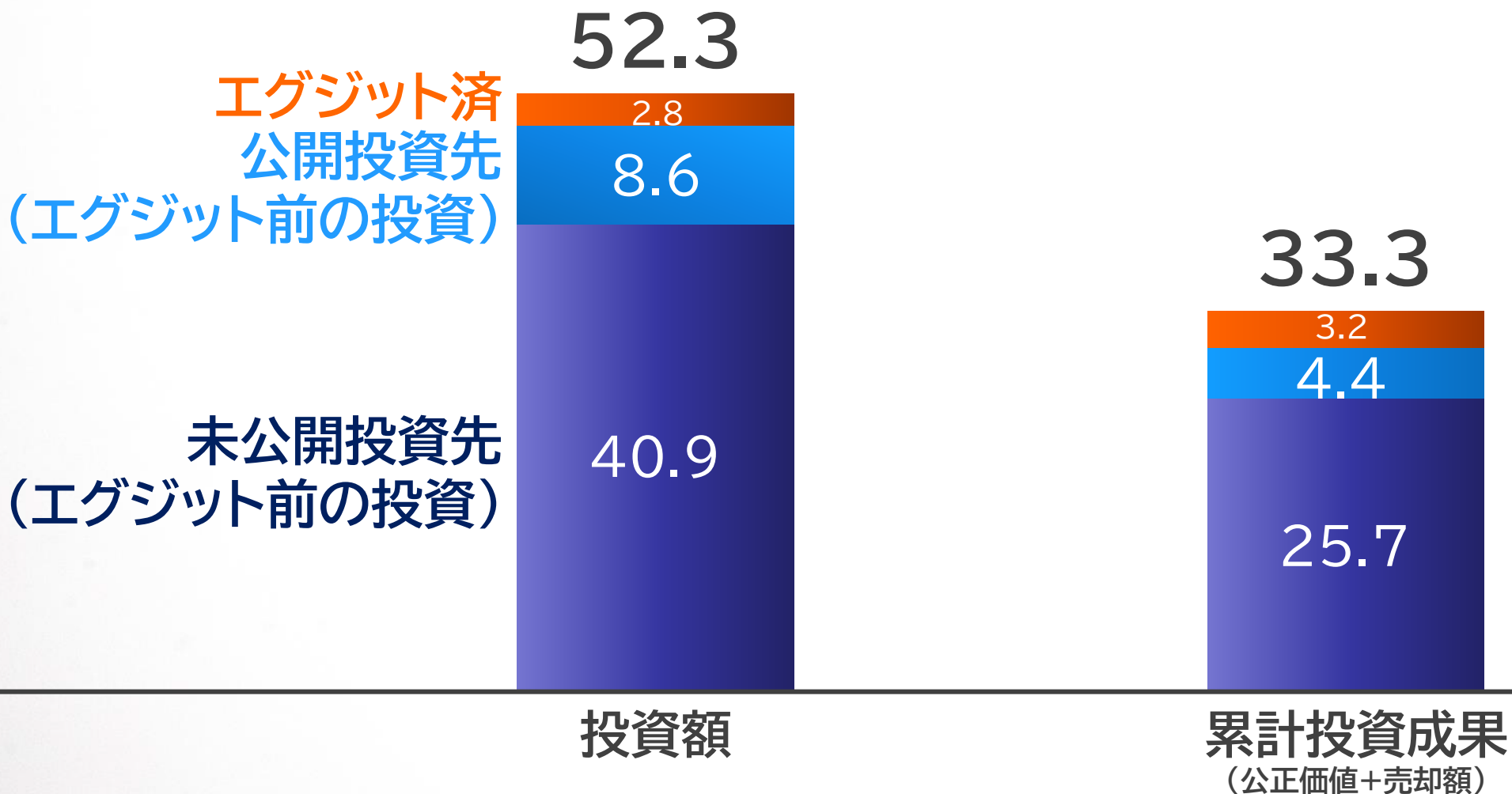
(\$ B)



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開/未公開の区分は、2023年12月末時点の状態に基づく。
エグジット済には、株式交換および投資先の組織再編による処分(売却)、デリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は累計投資成果に含めていない。

SVF2: 累計投資成果 (2023年12月末時点)

(\$ B)



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開／未公開の区分は、2023年12月末時点の状態に基づく。
エグジット済には、株式交換による処分(売却)、デリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
SVF2のエグジット前の投資の投資額および公正価値には、投資の取得対価の一部として受領した他会社の非支配持分に係るものを含む。

未公開投資先の資金調達状況

未公開投資先は2023年に80億米ドル以上を調達

2023年(暦年)における主な資金調達実績

資金調達ラウンド

41件

うち、アップラウンド

48%

資金調達額

\$8.2B

SVF1



LatAmファンド



SVF2



2023年12月末時点

資金調達ラウンド: SVF1、SVF2およびLatAmファンドの投資先における2023年12月末までの12か月間のエクイティ調達ラウンド数。SVF1、SVF2およびLatAmファンドが参加していない資金調達ラウンドを含む。セカンダリー資金調達ラウンドを除く。

アップラウンド: 直近の資金調達ラウンドのプレマネー・バリュエーションが前ラウンドのポストマネー・バリュエーションを上回る資金調達ラウンド

調達資金がドル建てでない場合は、初回クローズ日の為替レートを 사용하여調達資金の通貨を米ドルに換算している。

本スライドに記載の投資は、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが実施した投資のうち、過去12か月間で資金調達ラウンドを実施した主な投資先を例示するために選択されたものであり、SVF1、SVF2およびLatAmファンドの投資先を網羅するものではない。

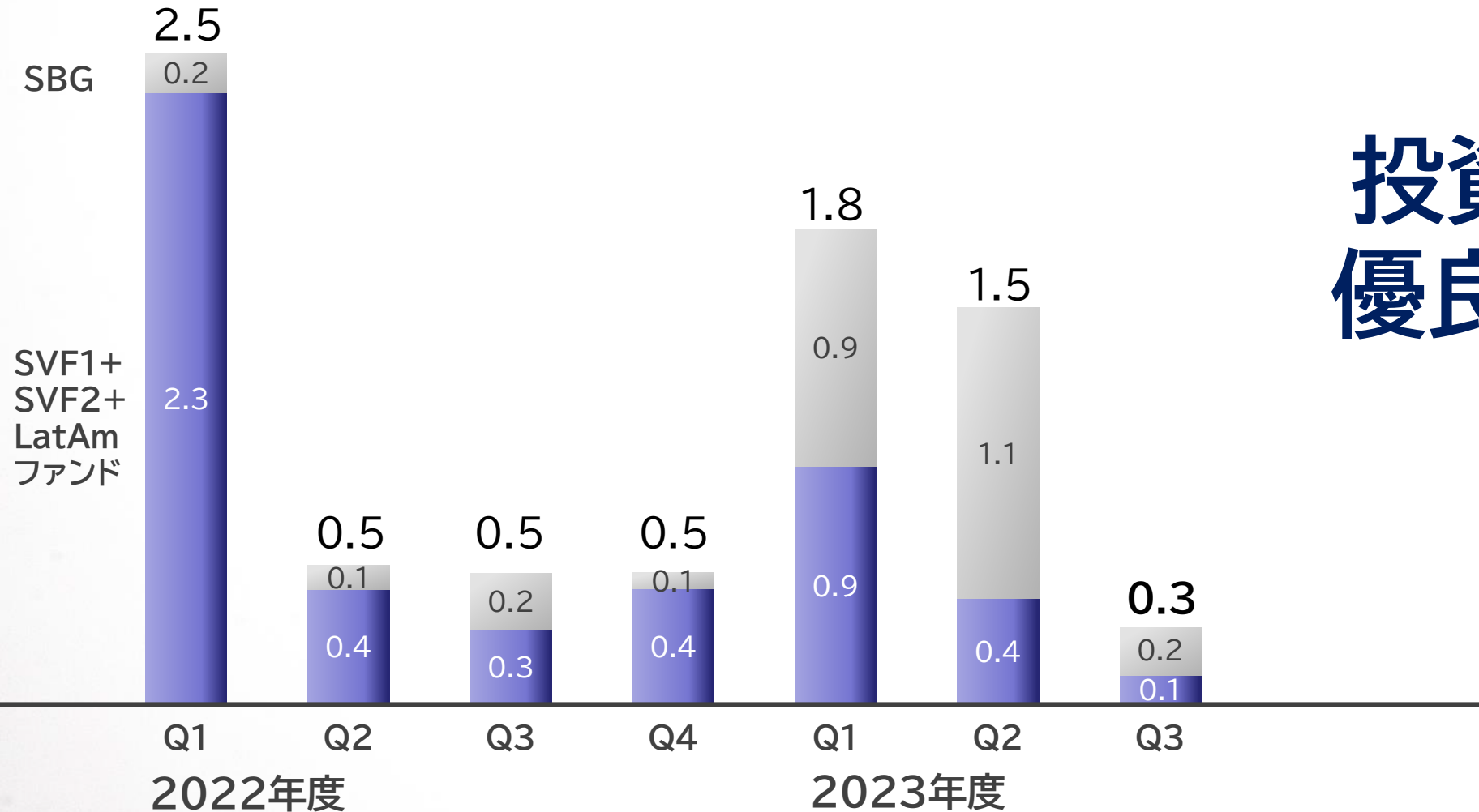
本スライドに記載の投資への言及は、特定の投資または証券の推奨として解釈されるべきものではなく、将来行われる投資が、本スライドに記載の投資と質またはパフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではない。

SVF1およびSVF2の投資先一覧は<https://visionfund.com/portfolio>に、LatAmファンドの投資先一覧は<https://www.latinamericafund.com/portfolio>に掲載。

過去の業績が将来も継続することを保証するものではない。

投資額の推移 (SVF1+SVF2+LatAmファンド+SBG)

(\$ B)



投資は再開、
優良案件発掘
に注力

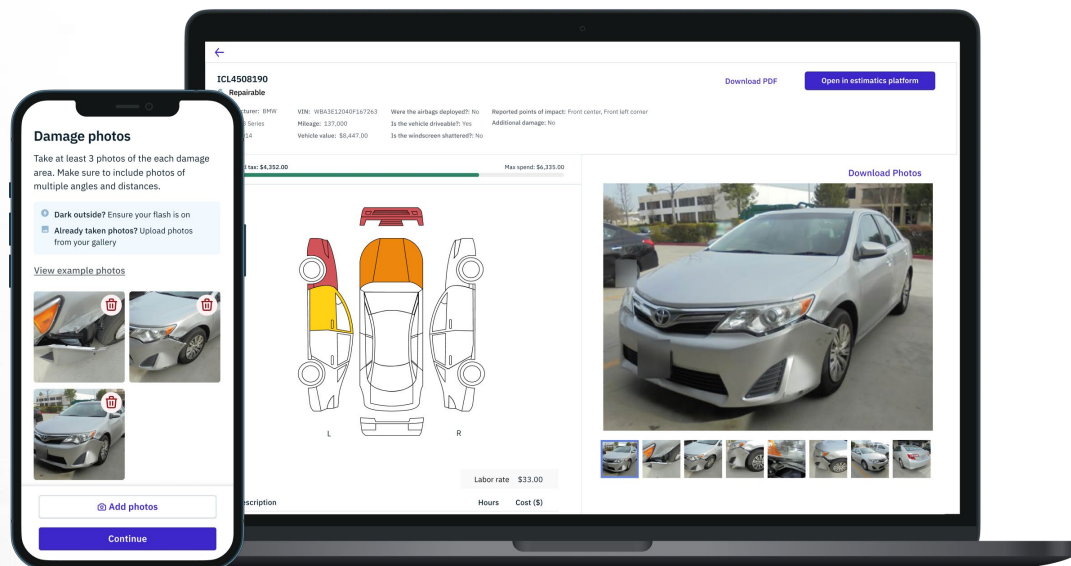
SBG投資額: SBGおよび主な100%子会社からの投資額(米国債への投資を除く)+Berkshire Grey(2023年7月)およびBalyo(2023年10月)の子会社化に伴う外部株主への支出額と両社が保有していた現金及び現金同等物との差額。グループ内取引に伴う投資額を除く。
SVF投資額: 新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。

SVF2: 最近の投資事例



Tractable

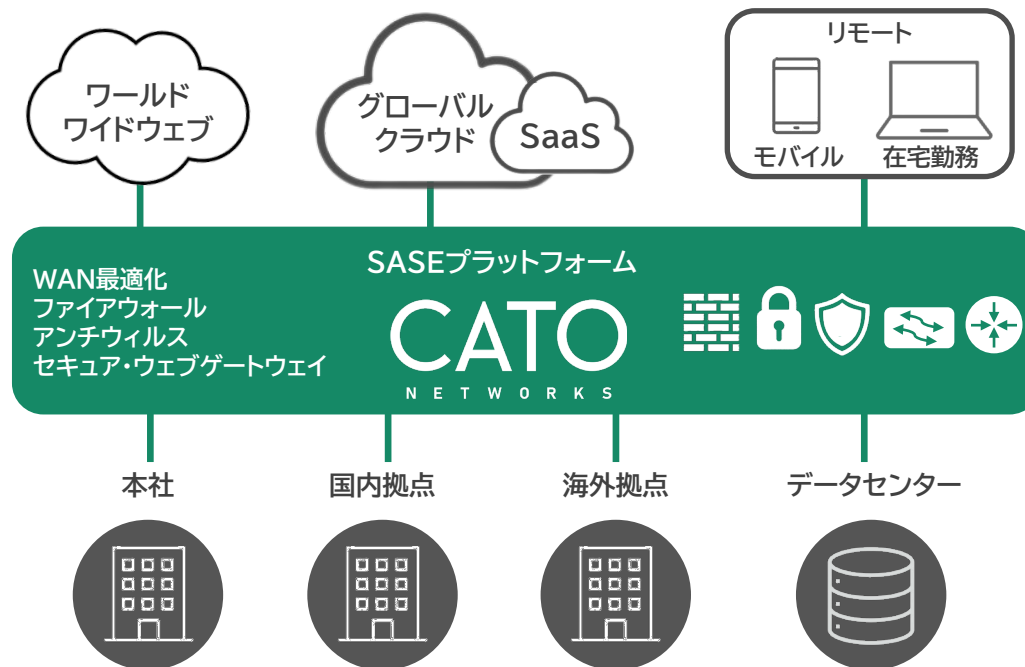
総額\$65Mの資金調達ラウンドを
SVF2がリード(2023年度Q2)



AIにより保険金請求や損害査定プロセスを自動化し、
スマホ画像から自動車/建物のコンディション評価や
正確な修理見積が可能



総額\$238Mの資金調達ラウンドに
SVF2が参加(2023年度Q2)



法人向けのすべての拠点、データセンター、ユーザー、
クラウドを安全かつ最適に接続するSASEプラットフォーム

財務戰略

2023年度の財務戦略

財務方針の堅持

「守り」「攻め」
両面に対応
できる財務運営

財務方針の堅持

1 通常時 LTV25%未満 で運用（異常時でも上限35%）

2 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3 SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

「守り」「攻め」に対応できる財務運営

更なるダウンサイド
にも耐える「守り」

財務の安全性を
維持しつつ
情報革命を牽引する
投資は実行

通常時 LTV25%未満で運用
(2023年12月末 LTV=11.5%)

少なくとも2年分の社債償還資金を保持
(2023年12月末 手元流動性=4.4兆円)

キャピタルアロケーション



バランスを
常に考慮

* NAVディスカウント水準も考慮事項

株価の変動要因

NAV
(時価純資産)



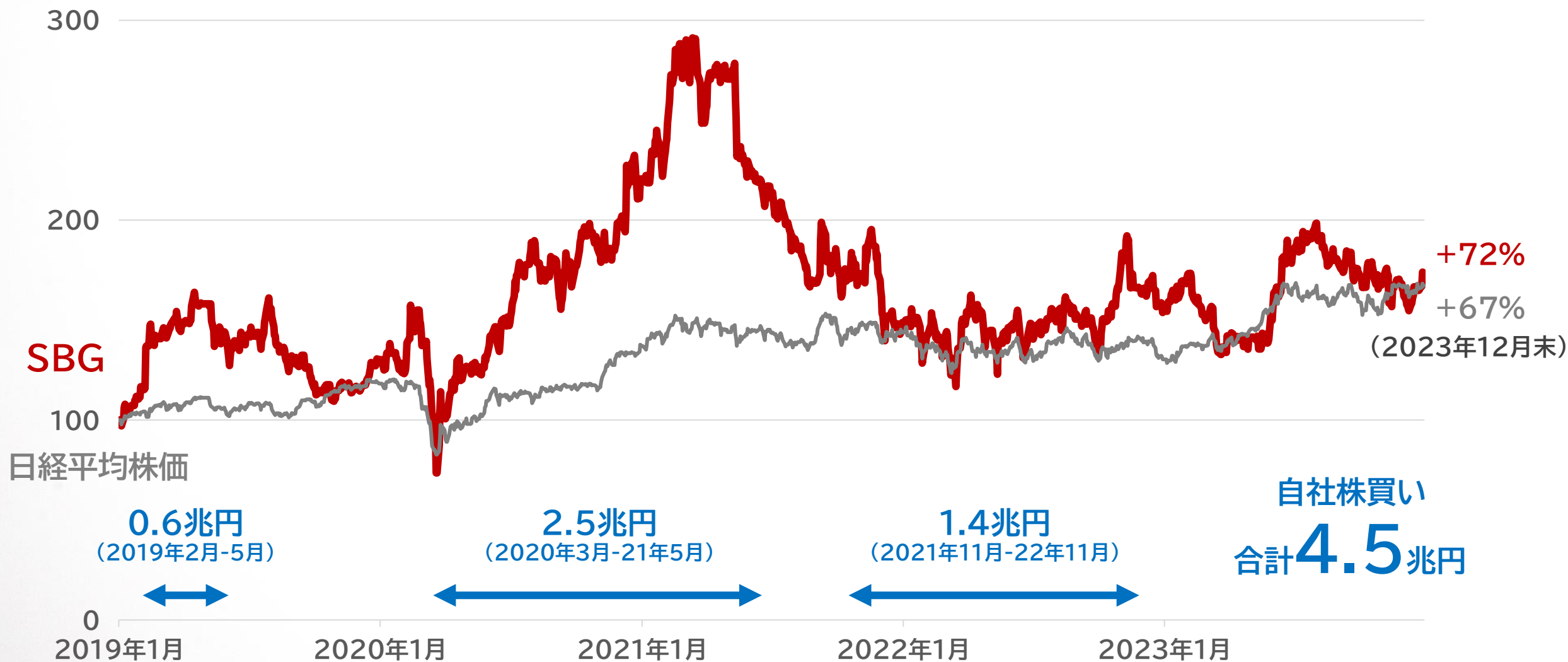
成長の実績

NAV
ディスカウント



NAVの方向性(投資戦略)
に対する信頼感

自社株買いと株価 (SBG vs 日経平均株価)



2019年1月1日を100として指数化
自社株買い:以下の各取締役会決議に基づく
2019年2月6日、2020年3月13日、5月15日、6月25日、7月30日、2021年11月8日、2022年8月8日

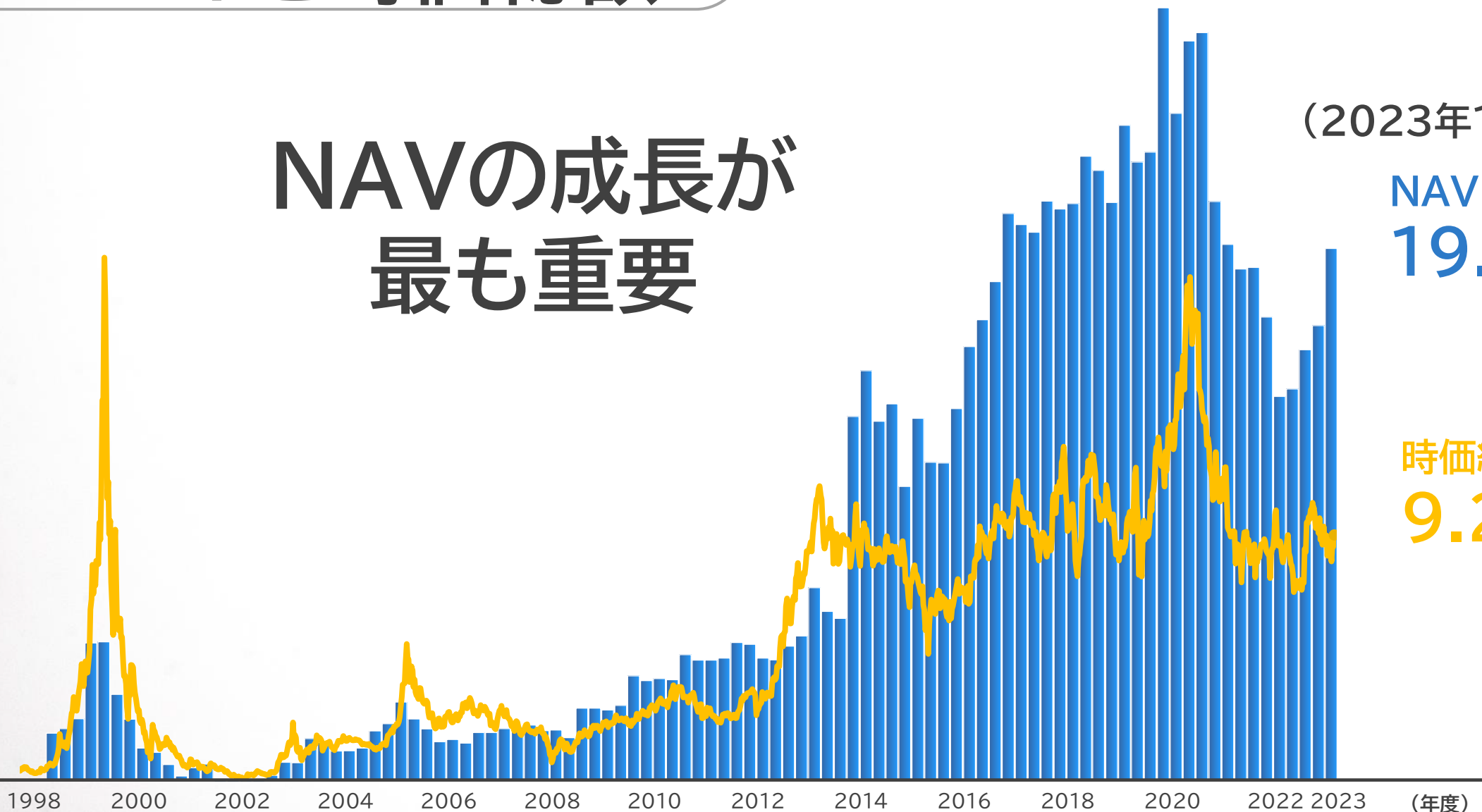
NAVと時価総額

NAVの成長が
最も重要

(2023年12月末)

NAV
19.2兆円

時価総額
9.2兆円



各四半期末時点

NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年12月末時点)」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない。
時価総額：自己株式を除く発行済株式総数を基に算出

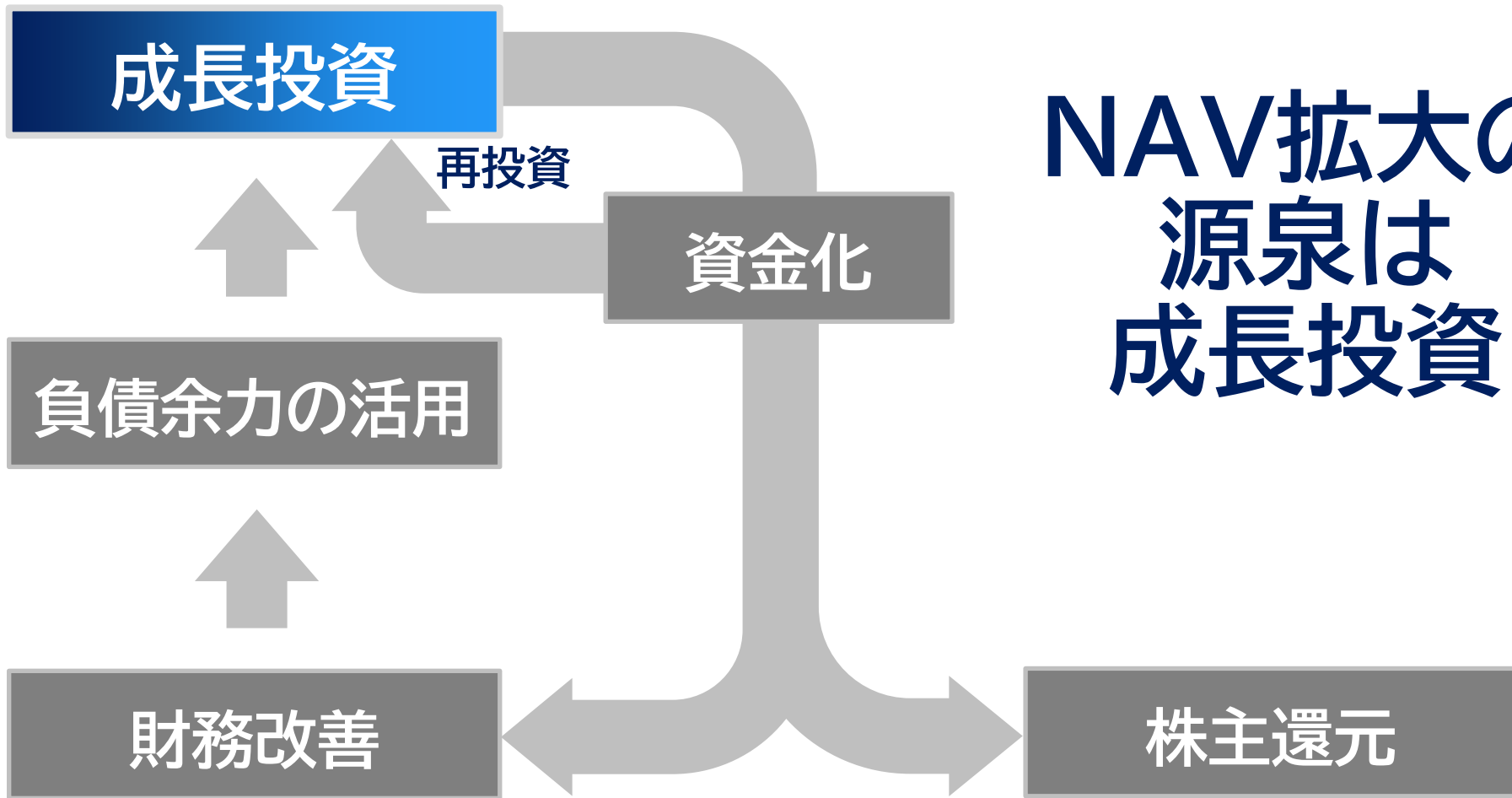
いま何をすべきか？

手元流動性

4.4兆円



Q3
2023年度



NAV拡大の
源泉は
成長投資

LTVは低水準を維持

過去5年で4.5兆円実施

手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。)
株主還元: 以下の各取締役会決議に基づく自社株買い

2019年2月6日、2020年3月13日、5月15日、6月25日、7月30日、2021年11月8日、2022年8月8日

まとめ

- 1 連結損益大幅改善。四半期純利益は9,500億円
- 2 1.1兆円相当のTモバイル株式を無償取得
- 3 アームの価値増が牽引し、NAVは2.8兆円増の19.2兆円
- 4 アリババからアームを軸としたAIへのシフト
- 5 SVFパフォーマンス大幅改善

情報革命で人々を幸せに



Appendix

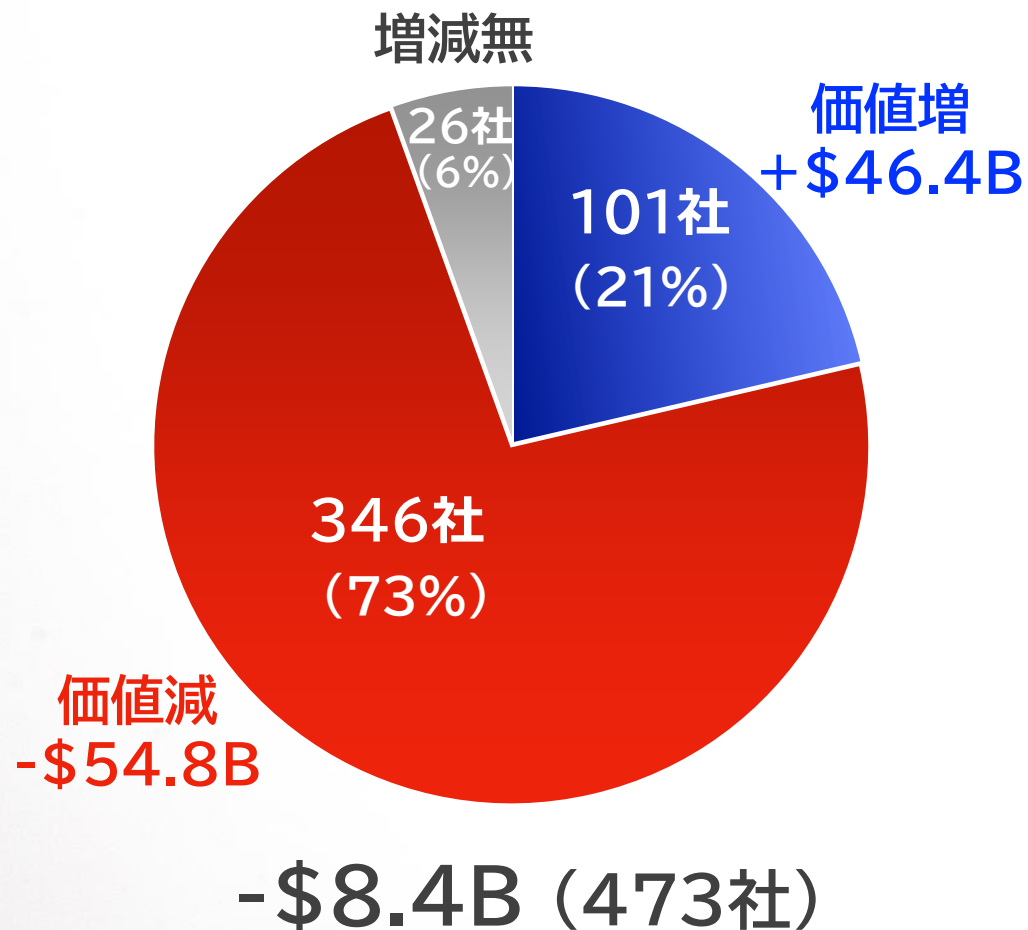
SVF事業投資損益：P/Lとセグメントの差異

(億円)	2023年度		
	Q1	Q2	Q3
(連結P/L)			
SVF事業	-130	-5,702	5,313
調整			
子会社等に係る投資損益	1,728	5,916	694
(セグメント情報)			
SVF事業	1,598	214	6,007

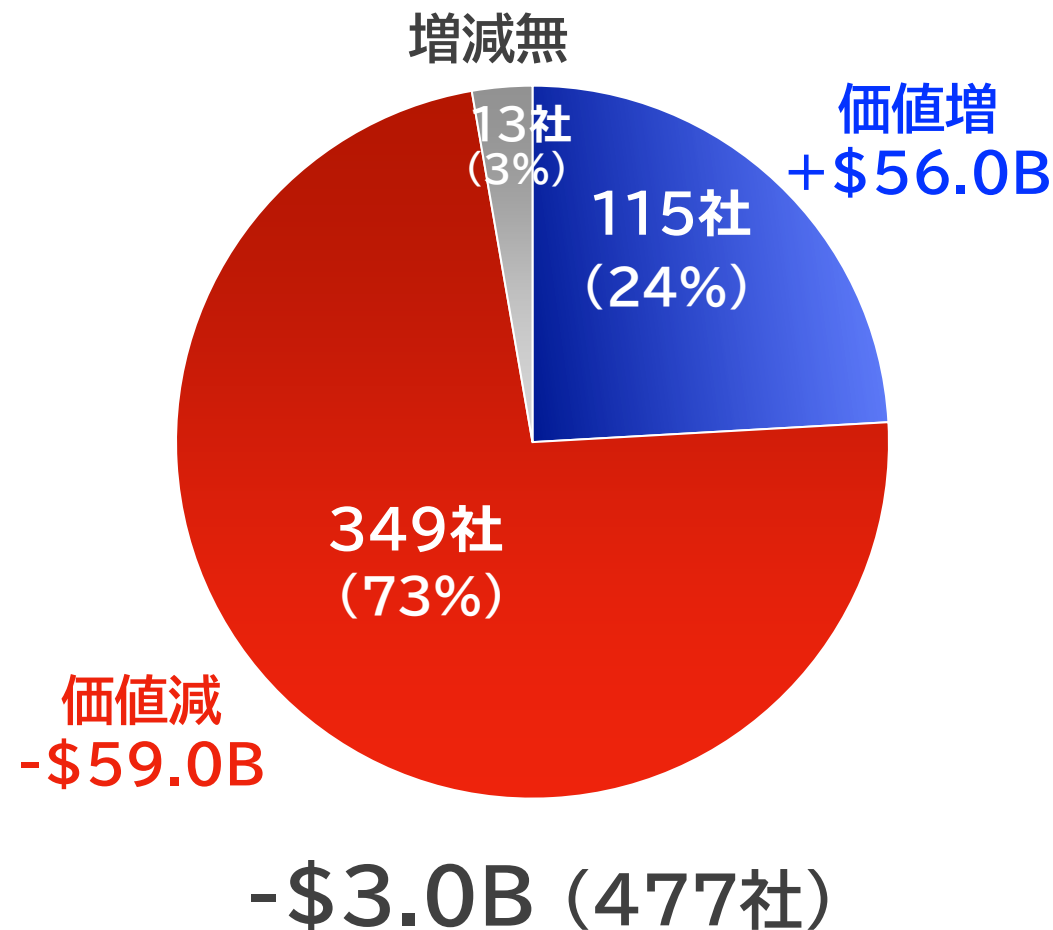
SVF: ポートフォリオの価値変動 (累計)

USDベース
(SVFセグメント)

2023年3月末



2023年12月末



ポートフォリオの価値変動 (累計): SVF事業からの投資損益(セグメント情報。デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
Polygon(MATICトークンの購入による投資)を含む(価値の増減無としてカウント)。

SVF: 投資損益

USDベース
(SVFセグメント)

2023年度Q2 (計+\$147M)

2023年度Q3 (計+\$4,087M)

価値増

+\$6,180M (89社)

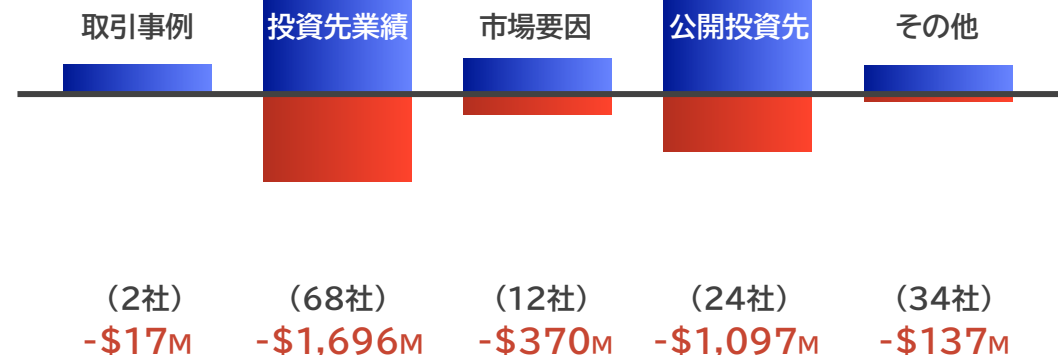
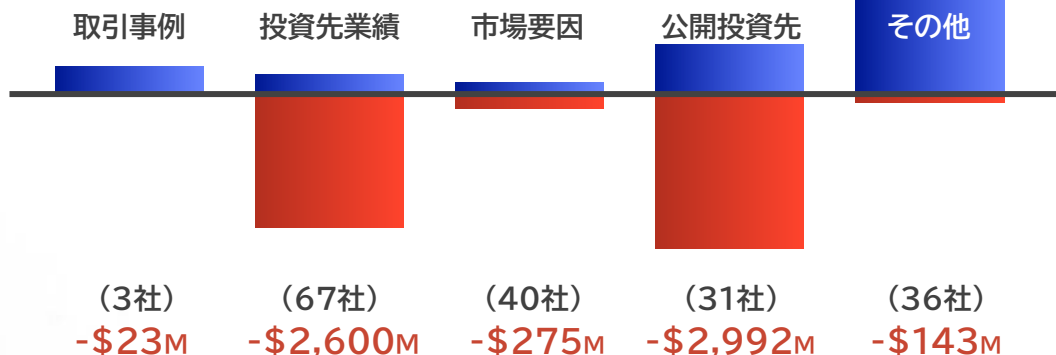
+\$7,403M (153社)

+\$557M (16社) +\$404M (26社) +\$242M (15社) +\$989M (20社) +\$3,990M (12社)

+\$598M (12社) +\$2,790M (25社) +\$706M (68社) +\$2,731M (25社) +\$577M (23社)

アーム含む

主要因



価値減

-\$6,033M (177社)

-\$3,317M (140社)

投資損益: SVF事業からの投資損益(セグメント情報。デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2023年度Q2および2023年度Q3における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
(出所) SBGAおよびSBIA
市場要因: 類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。
公開投資先: 店頭市場で取引されている投資先を含む。公開投資先の一部エグジットまたは全部エグジットによる投資損益などを含む。
その他: 未公開投資先の全部エグジットによる投資損益および為替影響などを含む。

SVF1: 投資損益

USDベース
(SVF1)

2023年度Q2 (計+\$2,413M)

2023年度Q3 (計+\$1,940M)

価値増

+\$4,924M (18社)

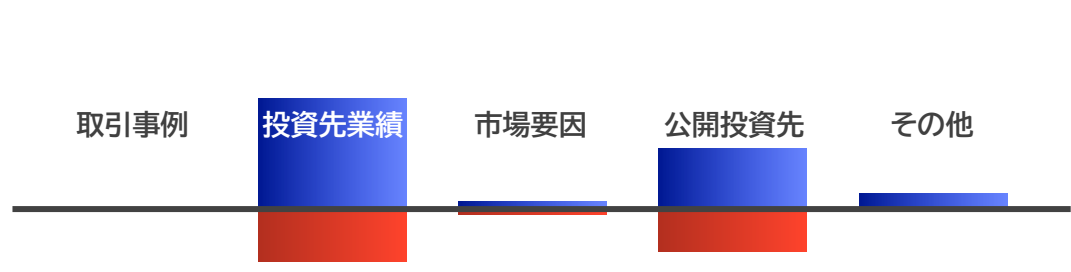
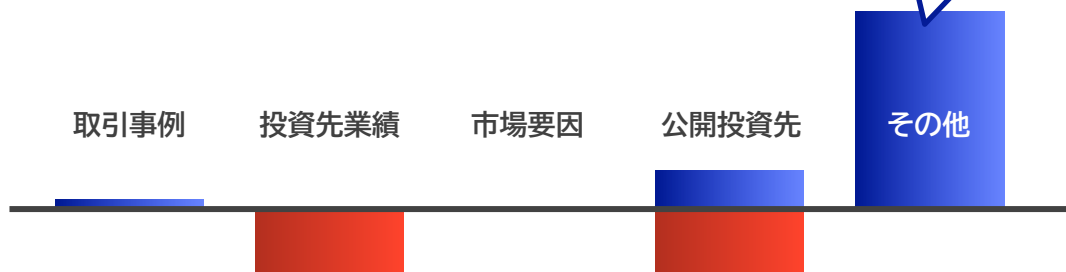
+\$3,880M (21社)

+\$217M (4社) +\$15M (1社) +\$41M (2社) +\$767M (9社) +\$3,884M (2社)

+\$10M (2社) +\$2,177M (2社) +\$170M (4社) +\$1,197M (10社) +\$327M (3社)

アーム含む

主要因



価値減

-\$2,511M (24社)

-\$1,939M (30社)

投資損益: SVF1からの投資損益(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2023年度Q2および2023年度Q3における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
(出所) SBGAおよびSBIA
市場要因: 類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。
公開投資先: 店頭市場で取引されている投資先を含む。公開投資先の一部エグジットまたは全部エグジットによる投資損益などを含む。
その他: 未公開投資先の全部エグジットによる投資損益および為替影響などを含む。

SVF2: 投資損益

USDベース
(SVF2)

2023年度Q2 (計-\$2,084M)

2023年度Q3 (計+\$1,703M)

価値増

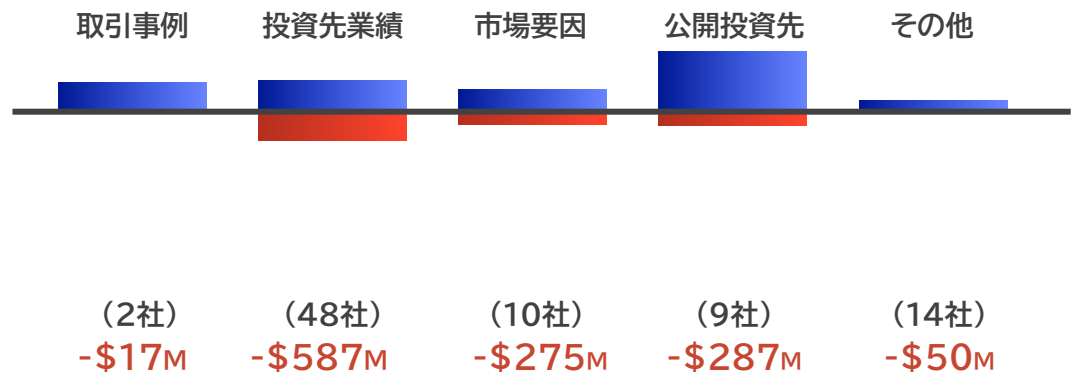
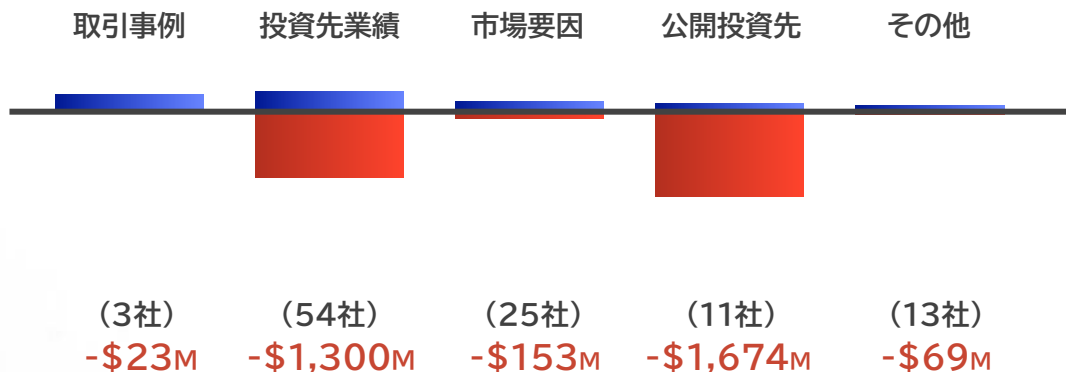
+\$1,136M (54社)

+\$2,919M (96社)

+\$318M (7社) +\$376M (22社) +\$185M (11社) +\$151M (7社) +\$105M (7社)

+\$560M (8社) +\$587M (19社) +\$418M (50社) +\$1,158M (8社) +\$196M (11社)

主要因



価値減

-\$3,220M (106社)

-\$1,216M (83社)

投資損益: SVF2からの投資損益(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2023年度Q2および2023年度Q3における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
(出所) SBGAおよびSBIA
市場要因: 類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。
公開投資先: 店頭市場で取引されている投資先を含む。公開投資先の一部エグジットまたは全部エグジットによる投資損益などを含む。
その他: 未公開投資先の全部エグジットによる投資損益および為替影響などを含む。

SVF1: 公開株投資先 (2023年12月末時点)

(\$ M)	(a) 投資額 *1	(b) 時価(グロス)*2	(c) = (b) - (a) 損益(グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3	(a) 投資額 *1	(b) 時価(グロス)*2	(c) = (b) - (a) 損益(グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3
	Coupang	2,729	10,259	7,530	3.8x			
	Doordash	680	7,721	7,041	11.4x			
全持分売却済	NVIDIA	2,878	5,813	2,936	2.0x			
全持分売却済	Guardant Health	308	2,665	2,358	8.7x			
全持分売却済	Uber	7,666	9,215	1,549	1.2x			
全持分売却済	Slack	334	1,018	684	3.0x			
全持分売却済	Ping An Good Doctor	400	828	428	2.1x			
全持分売却済	PolicyBazaar	199	592	394	3.0x			
全持分売却済	Opendoor	450	824	374	1.8x			
全持分売却済	10x Genomics	31	338	307	10.9x			
	Delhivery	397	663	265	1.7x			
	Roivant *4	919	1,063	145	1.2x			
	Vir Biotechnology	199	337	139	1.7x			
全持分売却済	Zomato	309	374	65	1.2x			
	Relay Therapeutics	300	307	7	1.0x			
	Energy Vault	60	43	-17	0.7x			
	OneConnect	100	4	-96	0.0x			
全持分売却済	ZhongAn	550	400	-150	0.7x			
	Aurora Innovation	333	172	-161	0.5x			
	GoTo (Gojek Tokopedia) *5	841	599	-243	0.7x			
	Full Truck Alliance	1,700	1,419	-281	0.8x			
	Getaround	348	5	-343	0.0x			
	Ginkgo Bioworks	404	41	-363	0.1x			
	Auto1	741	374	-368	0.5x			
	SenseTime	1,429	972	-457	0.7x			
	Paytm	1,600	1,129	-471	0.7x			
	Compass	1,082	480	-602	0.4x			
	Grab	2,993	2,342	-651	0.8x			
	View	1,175	4	-1,171	0.0x			
	WeWork *6	3,468	0	-3,468	0.0x			
	DiDi	12,073	3,825	-8,248	0.3x			
(A)	公開株式 合計(グロス)*7	\$46,697 (6.6兆円)	\$53,827 (7.6兆円)	\$7,130 (1.0兆円)	1.2x			
(B)	未公開株式等*8	\$40,898	\$50,511	\$9,613				
(A)+(B)	SVF1 合計(SBG目線)	\$87,595	\$104,338	\$16,743				

1ドル=141.83円(2023年12月31日TTM)で換算

- 投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料(純額)の合計
 - 時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと2023年12月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前
 - 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため未掲載
 - Roivant: SVF1の公開株の投資額からはRoivantの上場前(2020年3月)に実現した\$116Mを除外
 - GoTo: SVF1の公開株の投資額には、Gojekとの合併前のTokopediaへの投資を反映しており、GoTo上場前に実現した\$7Mを除外
 - WeWork: SVF1の公開株の投資額(\$3,468M)には、WeWork Asia Holding Company B.V.(“WeWork Asia”)への投資額(\$400M)が含まれる。WeWork Asia株式は1株当たり\$11.60で2020年4月にWeWork優先株式に交換
 - 公開株式 合計(グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているDiDiおよびWeWorkへの投資を含む。なお、WeWork株式の帳簿価額は0ドルまで引き下げている。これは、2023年11月6日に同社と主要な債券投資家との間で締結されたリスラクチャリングサポート契約(RSA)に基づき判断したものである。
 - アームを含む。アームの新規株式公開に先立つ2023年8月、当社100%子会社はSVF1が保有していたアームの普通株式の実質的に全てを取得した。
- SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含まない。
- 累計投資パフォーマンスを純額で表示
- 2023年12月末時点におけるSVF1に対するSBGからの累計支払額(純額)(Net Paid-in capital) = \$27.7B、SBGに帰属する価値合計(Total Value) = \$31.0B。詳細は「2024年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照

SVF2: 公開株投資先 (2023年12月末時点)

(\$ M)

	(a) 投資額 ^{*1}	(b) 時価 ^{*2} (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 ^{*3}	
全持分売却済	Beike	1,350	2,497	1,147	1.8x
	Symbotic	200	1,027	827	5.1x
	Neumora Therapeutics	60	130	70	2.2x
	IonQ	61	77	16	1.3x
	Globalstar	5	9	4	1.9x
全持分売却済	Qualtrics ^{*4}	24	15	-9	0.6x
全持分売却済	Berkshire Grey ^{*5}	115	92	-23	0.8x
	Pear Therapeutics	46	0	-46	0.0x
	Beisen	100	27	-73	0.3x
	Alnovation	126	48	-78	0.4x
	Full Truck Alliance	250	166	-84	0.7x
全持分売却済	Zhangmen ^{*6}	105	1	-104	0.0x
	Keep	200	87	-113	0.4x
	Exscientia	284	122	-163	0.4x
	Seer	205	10	-195	0.0x
	DingDong Mai Cai	325	21	-304	0.1x
	AutoStore	2,800	2,406	-394	0.9x
	JD Logistics	601	161	-440	0.3x
	Better	497	51	-446	0.1x
	WeWork	3,033	1	-3,032	0.0x
(A)	公開株式 合計 (グロス) ^{*7}	\$10,386 (1.5兆円)	\$6,946 (1.0兆円)	-\$3,440 (-0.5兆円)	0.7x
(B)	未公開株式等	\$41,859	\$26,325	-\$15,534	
(A)+(B)	SVF2 合計(SBG目線)	\$52,245	\$33,271	-\$18,974	

1ドル=141.83円(2023年12月31日TTM)で換算

1. 投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

2. 時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと2023年12月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。

3. 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

4. 2023年6月28日に上場廃止。なお、SVF2は2023年6月29日に同社の全持分を売却済み

5. 2023年7月20日に上場廃止。なお、2023年7月にSBGが同社の全株式を取得済み

6. 2023年11月15日に非公開化し、SVF2は同社の全持分を売却した。

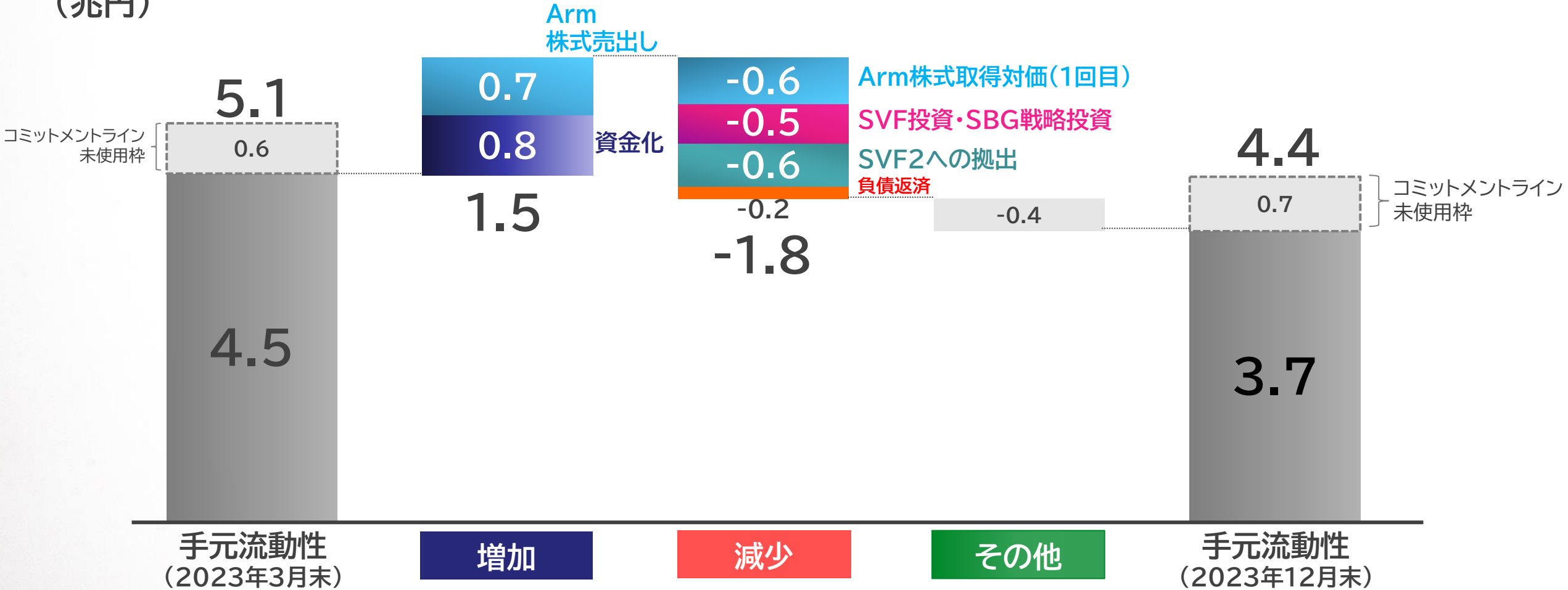
7. 公開株式 合計(グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているPear TherapeuticsおよびWeWorkへの投資を含む。なお、WeWork株式の帳簿価額は0ドルまで引き下げている。これは、2023年11月6日に同社と主要な債券投資家との間で締結されたリストラクチャリングサポート契約(RSA)に基づき判断したものである。

SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。累計投資パフォーマンスを純額で表示。

2023年12月末時点におけるSVF2に対するSBGからの累計支払額 (純額) (Net Paid-in capital) = \$55.1B、SBGに帰属する価値合計 (Total Value) = \$35.5B。詳細は「2024年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照

資金化と資本配分 (2023年度Q1-Q3)

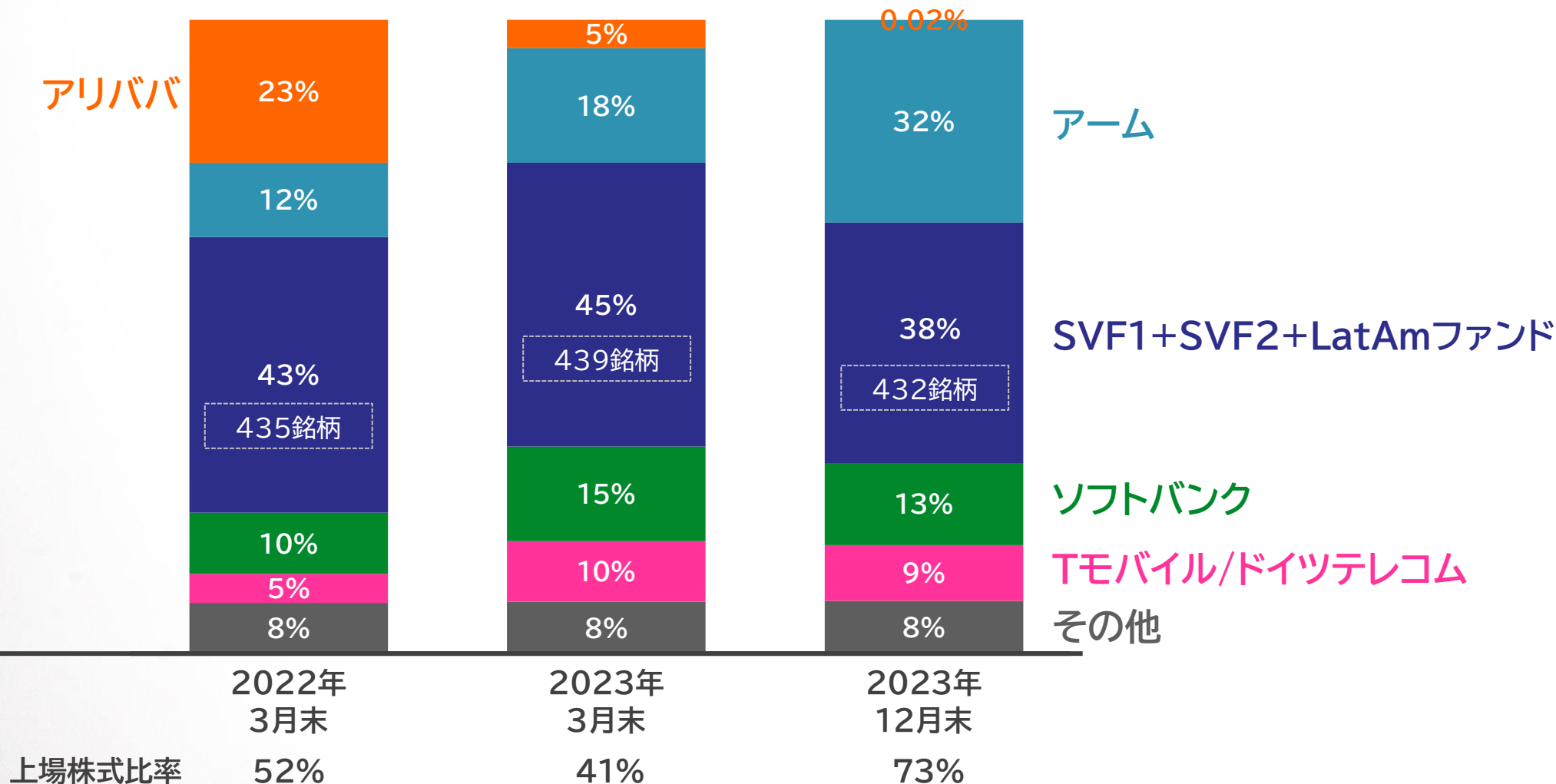
(兆円)



各四半期の平均レート等により円換算
 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。)
 SBG単体: 連結グループから独立採算子会社を除いたベース。独立採算子会社は、ソフトバンク、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等
 資金化: SVF1からの分配 (+\$0.2B)、SVF2からの分配 (+\$53M)、LatAmファンドからの分配 (+\$0.2B)、アリババ株式を活用した株式先渡売買契約 (+\$4.4B)、子会社の支配喪失による収入 (+\$0.7B)
 SVF投資・SBG戦略投資: SVF投資額合計 (-\$1.4B)、SBG戦略投資合計 (-\$2.2B)
 負債返済: SBGの社債償還 (永久ハイブリッド債 (-¥277.8B)、国内普通社債 (-¥19.5B)、国内ハイブリッド社債 (-¥15.4B))、期中に買入れた社債 (-¥145.8B)。SBG社債発行 (+¥222.0B)、SBGハイブリッドローン調達 (+¥53.1B)等をネットして記載
 SVF2への拠出: SVF2の借入金返済のための拠出など、投資を伴わない出資

保有株式価値：ポートフォリオの分散

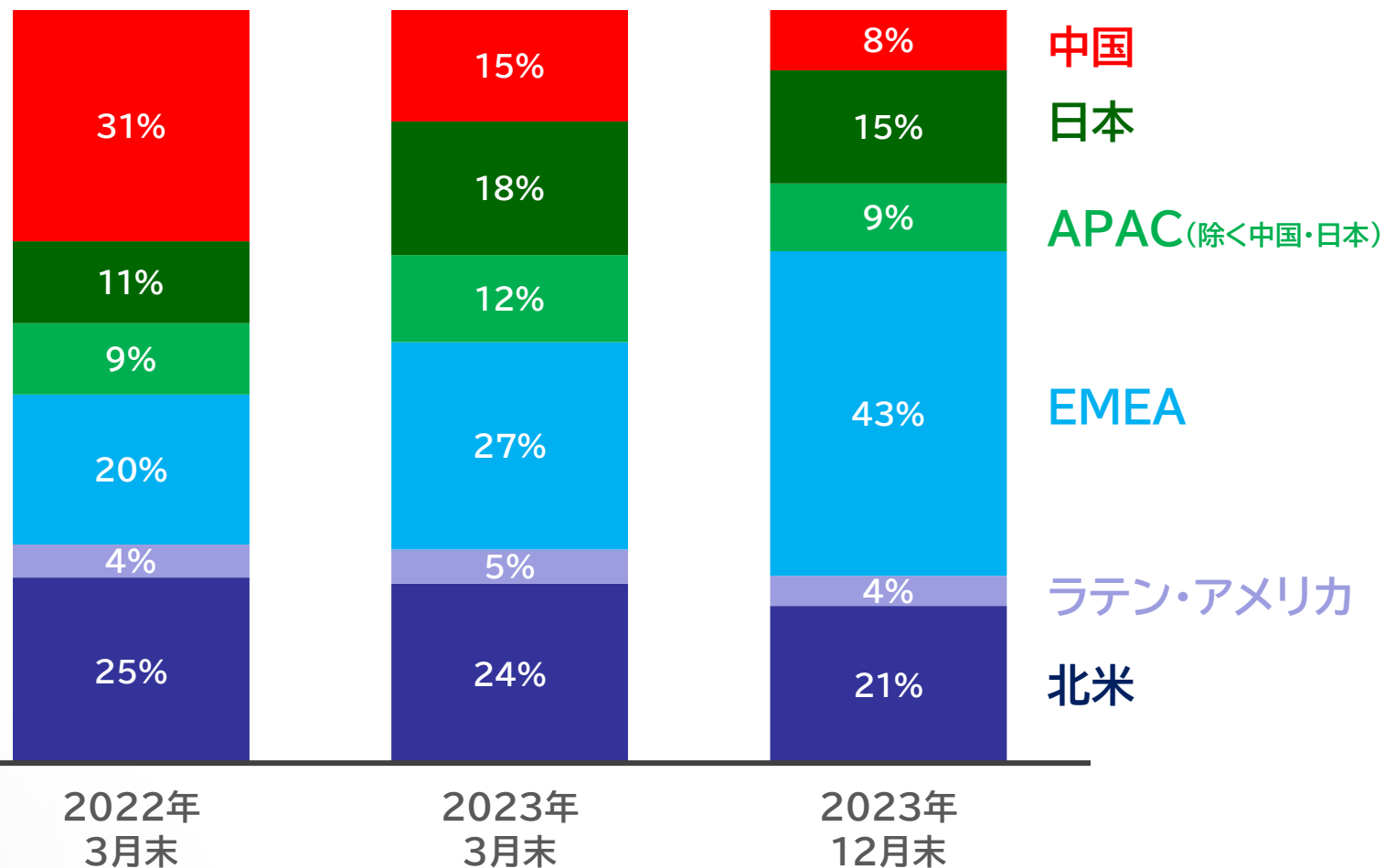
アセットバック・ファイナンス除く



保有株式価値の算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照
 上場株式比率：アリババ、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)。
 2023年12月末におけるSVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する銘柄数の内訳：SVF1は69件、SVF2は273件、LatAmは90件。詳細については、「2024年3月期 第3四半期 決算データシート」掲載の各ファンド投資先一覧を参照

保有株式価値：ポートフォリオの分散

アセットバック・ファイナンス除く



各投資先の本社所在地に基づき地域を分類
 中国:アリババ、SVF1およびSVF2(中国相当)、その他の中国投資の合計
 日本:ソフトバンク、SVF1およびSVF2(日本相当)、その他の日本投資の合計
 APAC(除く中国・日本):SVF1およびSVF2(中国・日本を除くAPAC相当)、その他の中国・日本を除くAPAC投資の合計
 EMEA:アーム、ドイツテレコム、SVF1およびSVF2(EMEA相当)、その他のEMEA投資等の合計
 ラテン・アメリカ:LatAmファンド、SVF1(ラテン・アメリカ相当)、その他のラテン・アメリカ投資の合計
 北米:Tモバイル、SVF1およびSVF2(北米相当)、その他の北米投資の合計

NAV・LTVの定義及び算出方法 (2023年12月末時点)

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: (a) - (b) - (c)
 - (a) SBGの保有株式数(ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象株式数を含む) × 同社株価
 - (b) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (c) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アーム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- その他: (d) + (e) + (f)
 - (d) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (e) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (f) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式の公正価値。なおSB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債(マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く)はSBGの純有利子負債の一部と見なし、同社NAVの算出には含まない。

3. 純負債(アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: ソフトバンク(LINEヤフー株式会社及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
 - なお、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債(マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く)をSBGの純有利子負債の一部と見なす。
- その他調整: 以下の(g)~(m)の調整額の合計
 - (g) ハイブリッド債およびハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除(対象社債:第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債)
 - (h) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入(対象社債:米ドル建ノンコール10年永久劣後社債)
 - (i) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (j) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
 - (k) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (l) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (m) アーム株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2023年12月29日終値
- 為替: 1ドル = 141.83円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド
- Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Holdings plc
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法 (2023年9月末時点)

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券 × 同証券の株価 - アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: (a) + (b) - (c) - (d)
 - (a) SBGの保有株式数(ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象株式数を含む) × 同社株価
 - (b) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
 - (c) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (d) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アーム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- その他: (e) + (f) + (g)
 - (e) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (f) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (g) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式の公正価値。なおSB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債はSBGの純有利子負債の一部と見なし、同社NAVの算出には含まない。

3. 純負債(アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: ソフトバンク(Zホールディングス株式会社(現LINEヤフー株式会社)及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
 - なお、SB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債をSBGの純有利子負債の一部と見なす。
- その他調整: 以下の(h)~(n)の調整額の合計
 - (h) ハイブリッド債およびハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から除く(対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債)
 - (i) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入(対象社債: 米ドル建ノンコール10年永久劣後社債)
 - (j) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (k) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
 - (l) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (m) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (n) アーム株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2023年9月29日終値
- 為替: 1ドル = 149.58円

- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド
- Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Holdings plc
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。